

資料 「農業系高校における特色ある取り組み」(活動概要の紹介)

令和2年9月調査

都道府県	学校名	活動名	学 科	概 要
北海道	ニセコ	京野菜の周年栽培	緑地観光科	地中熱利用ハウスを利用した九条ネギの周年栽培並びにニセコ町内のレストランと連携したメニュー開発
		ラベンダーを利用した商品開発	緑地観光科	町花ラベンダーを活用した特産品づくり。ラベンダー抽出液からフレグランススプレーを製造
		観光教育	緑地観光科	地域資源を活用した観光教育
	旭川農業	ASIA-GAP 認証の取得	農業科学科	北海道旭川市の主要作物である米について ASIA-GAP 認証を取得し、生産・流通を通して生徒の教育活動に繋げる。
		あったか旭川まん6次産業化プロジェクト	食品科学科	北海道旭川市のご当地グルメであるあったか旭川まんの開発・製造・流通・普及を通し、全国へ向けた活動を展開中である。
		上川林業官学広域連携事業	林業科学科	北海道大学と上川町との連携事業で、科学的視点を持った林業担い手を育成している。
		養護老人施設との交流	生活科学科	学校に隣接している養護老人施設での花壇造成や車いすでも花を植え付けられるレイズドベットの花壇を使い交流を行っている。
	遠別農業	デジタル人材育成プログラム	生産科学科	
	岩見沢農業	専門高校フューチャープロジェクト	農業科学科、農業土木工学科	北海道の指定事業で、本校と札幌工業高校が指定を受け、北海道農業の今後を創造する研究を農工連携して行う事業。【2020年度～3カ年】
		岩農食農塾	食品科学科	小学生に食と命の大切さを伝えるために行っている食育事業。空知総合振興局等に支援を受け、市内小学生への食育授業、地域農家へのファームステイなど実施。
		企業と連携した商品開発	生活科学科	日糧製パンと連携し、地元北海道の食材を活用したパンを商品化することを通して、商品開発に関わるコンセプトの設定、マーケティング等について学ぶ学習。
		ICTを活用した農業土木工の学習	農業土木工学科	ドローンや自動操縦の重機を使用した土木施工について、空知建設業協会の支援のもと学習している。
		医食同源プロジェクト	全7学科	新型コロナ対策に日々励まれている医療従事者の方々へ生徒達からの感謝とエールを送る事業。花文字の作成・看板の設置等
	倶知安農業	健康農園交流	生産科学科	町内介護施設と連携し、高齢者との農業体験交流を実施。農業や食の多面的な機能を効果的に活用し、健康寿命の延伸を図るような取り組みを行っている。
		農高カフェ	生産科学科	学校農場で生産された農畜産物や加工品を活用し、生徒が考案したランチやスイーツをお客様に提供。地域に愛されるおみせづくりを推進している。
		酒米栽培から逸品づくり	生産科学科	町内酒造会社と連携し、本校で酒米を栽培し、栽培された米で日本酒作りに取り組んでいる。また、町在住の外国人にも協力をいただき和の交流を図っている。
	士幌	産学官民金融連携事業	両学科	商品開発において町の役場・企業・金融機関・民間企業とが高校生と共同で商品開発等を行っている。
	新十津川農業	スマート農業	農業/生活科	町の産業振興課、北海道クボタ、地域農家の方々の実践している研究の視察と見学、講演会を実施している。
	深川東	青空園芸教室	生産科学科	深川市を緑にする会の協力で深川市内の小学生を高校に招いて花と野菜の寄せ植え教室を行っています。花や野菜、木に関するクイズも行い、小学生の関心を高めています。
	真狩	資格取得	農芸科学科	「野菜製菓コース」においては2年間の宮島学園製菓専門学校とのダブルスクールで国家資格「製菓衛生士」の受験資格が得られ、合格率は100%である。
	静内農業	高等学校 OPEN プロジェクト	生産科学科	強い競走馬を育成するとともに、町内の小中学生へ、地元の基幹産業である馬文化を伝え、後継者育成に繋げる。
		課題研究	生産科学科	サラブレッドの種付け、出産、セリ上場までの飼育管理を行う。
	帯広農業	産・官・学・金融連携事業	食品科学科	北海道庁、帯広畜産大学、日本甜菜製糖株式会社、帯広信用金庫と連携し、地域課題である廃棄農産物を有効活用するため、ビートの絞りかすであるラフィノースを活用し、豆乳ヨーグルトの開発を行い製品化に成功した。
	大野農業	農業用ドローン	農業科・農業科学科	農業用ドローンを水稲栽培でシーズン中使用し、生育調査・薬剤散布に利用している。
		サンタクロース活動	全学科	クリスマスシーズンに実習生産物のシクラメンなどを持参し、地域の独居老人宅を訪問する。
	中標津農業	J-GAP 認証	生産技術科	認証過程において、QRコードを読み取ると、搾乳方法などの作業手順を動画で確認することができる手法を考案。この作業工程を「見える化」させた取組が日本 GAP 協会に評価され、GAP 普及大賞を受賞した。
食農教育活動①		食品ビジネス科	15年間にわたり継続している本活動は、計根別地域の幼稚園から中学校3年生まですべての学年における体験活動が実現し、大学も含めた幼小中高大の食農一貫教育が展開されている。	
食農教育活動②		食品ビジネス科	上記活動に加え、計根別地域を含めた中標津町全体における食育活動を開始し今年度で3年目を迎える。農家視察や企業訪問など、地域を教材にして地域を学び、郷土愛を育む取組を行っている。	
SDGs 推進活動		両学科	昨年度より全校でSDGsに基づいた研究班活動を行うことを推進し、全8研究班が地域と密接に関わった持続可能な活動を行っている。SDGs運営委員会を定期的に行っており、活動の方向性を確認している。	

都道府県	学校名	活動名	学科	概要
北海道	当別	ホテル前庭花壇造成	園芸デザイン科	ライフオフト札幌前庭花壇造成を年3回実施、春・夏・秋ごとにテーマを決めてデザインしている。来年はオリンピック応援花壇造成予定
	標茶	「しべパフェ」で元気な町づくりプロジェクト	総合学科	地域課題として「酪農の町のイメージが希薄している」や「牛乳製品の処理能力の低迷」などがあげられる。これら課題に、「産学官」の連携により町内の飲食店でオリジナルのパフェを商品化する活動である。
	名寄産業	小学校との連携学習	酪農科学科	近隣の小学校1年生から6年生まで各学年ごとに動物、草花、作物、加工等体験学習をとおして、食育を実践している。
青森	三本木農業	農場開放学習	学校全体	幼稚園児(保育園児)・小学生の農業体験学習を年間約1,500人ほど受入れている。その際、生徒がファームナビゲーターとして農場を案内している。
		命の花プロジェクト	動物科学科	殺処分されたペットの骨は事業系廃棄物であり、土に返ることもできない現状がある。そこで、殺処分の現状を多くの人に知ってもらう目的で、骨を混ぜた土で花を育て花としてもう一度命を咲かせる活動を行っている。
	三本木農業	地域連携事業(きみがらスリッパ等)	植物科学科	十和田きみがらスリッパ生産組合と連携し栽培・研究活動に取り組んでいる。地域の伝統工芸品を守り、地域活性化に貢献している。
		アンテナショップ	学校全体	原則、木曜日に本校生産物を地域の方に販売している。令和元年に20年目を迎えた。農業経済科の販売実習も兼ねている。
		農可尊熟(のうかさんじゅく)	学校全体	農業や環境・地域の諸問題に関する自主的な学習会で、生徒の問題意識と表現力を高めるとともに、地域の期待に応え地域をリードし、ICT化やグローバル化に対応できる人材を育成する目的で行っている。
	五所川原農林	GGAPチーム活動	全学科	6年前から高校では全国初のGGAP取得をし、農作業安全や農場管理の基本を見直し、集団討論などで研究、実践することにより、地域で担い手不足が深刻化する中、卒業後に地域をけん引するよう人材育成に注力している。
		森林管理協議会(FSC)森林認証取得	森林科学科	2年前から森林管理におけるGAPとも言える森林管理協議会(FSC)森林認証を取得しており、学校林地から切り出した木材をオリンピック関連施設の建設に提供した。
		農産物や加工品の海外販売	食品科学科	本校産リンゴ生果およびその加工品を他校と連携して台湾等における生徒販売実習を通して、国際感覚を養うとともに海外輸出のための研修をした。
	柏木農業	GLOBALG.A.P.への取り組み	りんご研究部	本校では、国際的な次世代農業経営者を育てるため、初めてGLOBALG.A.P.認証取得に向けた活動をりんご研究部でスタートさせ、品目を「りんご」で挑戦することとし、日頃の活動及び準備等を経て、認証取得することができました。
	名久井農業	農作業支援活動	全学科1年	農業の仕事を現場で体験し、地域の方々と交流することを目的に、3~4名のグループで一日を農家で過ごす。春と秋の2回実施。
海外研修		全学科	隔年で派遣と受け入れを実施する。R1は米国マサチューセッツ州ウエストポート海外研修。姉妹校提携を結び相互交流。	
弘前実業	農福連携事業	農業経営科	弘前第一養護学校高等部との連携事業。年に5回実施。障害理解実習、りんご実習、農産物販売実習、カフェ実習、ジャム製造実習等	
岩手	盛岡農業	6次産業化	動物科学科	黒豚を生産し、企業と連携して肉加工を行い販売している。日本短角種についても、学校で飼育したもので生ハムに加工し販売。日本短角種については、他企業で革製品の製作まで行っている。
		オリンピック・パラリンピックおもてなし	植物科学科	GAP食材を利用し、おもてなし料理として、リンゴ&カナダボークのカツレツ、カナダサーモンリンゴパイを作り、オリンピック・パラリンピックおもてなしをする予定であった。
	大船渡東	地域との連携「つばきっ子助成事業」による椿苗の供給	農芸科学科	大船渡市の花「椿」を利用した取り組みとして、大船渡市との委託契約により、つばきっ子助成のための椿苗を本校生徒が、課題研究と総合実習で学びながら挿し木栽培をし、毎年約300本の椿苗を継続供給している。この取り組みは、毎年大船渡市に子どもが誕生した場合に、その子どもと両親・家族に大切な1本の椿苗が市から贈られるものである。
	遠野緑峰	農家宿泊研究・農業生活実践講座	生産技術科	遠野市の農林水産の活性化を目的に、高校生に多くの体験をしてもらおうと、地域一丸となり実施されている。
遠野緑峰	拓心プロジェクト	生産技術科 情報処理科 (商業科)	農業と商業の併設校であり、「地域探求」「農商連携」をキーワードに生徒が関わられる事業を模索し、実施する活動である。	
宮城	伊具	フラワーバトンプロジェクト	総合学科	地域の小学校・中学校に出向き草花の植栽を指導している。
	亘理	商品開発	食品化学科	山元町6次産業化・地産地消推進協議会に参加し、イチジクの加工利用について取り組み、イチジクグミとイチジクのクリームチーズが山元町のブランド認証品として認証されました。
	農業	酒米の栽培	農業科	酒造好適米「蔵の華」の栽培に取り組み、県内の醸造元に卸し、製造を委託、本校オリジナル銘柄「樹徳邦稷」として販売されている。また、売り上げの一部が災害への基金として積み立てられるようになった。
		共進会への取り組み	農業科	共進会に向けて、仮称「牛部」の生徒たちが、放課後や休日等に牛の調教等に当たっている。
		カルビーとの連携事業	園芸科	園芸科露地野菜部門では、カルビーの協力を得て、ジャガイモ栽培やポテトチップス工場の見学等を行っている。
		地域の花壇植栽	園芸科	宮城県庁花時計植栽の他、仙台空港等に栽培した草花を年3回程度植栽。
豆腐マイスタープロジェクト	生活科	地域の豆腐店の協力を得て、大豆の栽培や豆腐加工の指導を頂いている。		

都道府県	学校名	活動名	学科	概要
宮城	農業	カゴメとの連携事業	食品化学科	カゴメのトマトジュース用品種凛々子の栽培指導、8月31日の野菜の日に合わせた販売協力等を行っている。
	南郷	高大連携事業	産業技術科	高大連携事業として熊本県立大学とのマイクロバブル水によるシクラメン栽培について共同研究を実施し専門性を高める。
	石巻北	高大産連携プロジェクト	食農系列	宮城県水産高校と行ってきたこめぼこ(かまぼこのつなぎに米粉使用)交流を石巻専修大学がプロデュースして、地元かまぼこ店、楽天野球団を交えてこめぼこの商品化を目指し、前年度から商品化して販売。
	小牛田農林	和牛調教	農業技術科 農業科学コース	イベント会場での調教披露
		和牛甲子園	農業技術科 農業科学コース	外部機関(試験場、家畜保健所、全農みやぎ、美里町等)と連携して肥育牛の生産
		日本酒の醸造	農業技術科 農業科学コース	蔵元、販売店との連携で本校の生産米(ひとめぼれ、ササニシキ)を使用して日本酒の醸造
		パックライス販売	農業技術科 農業科学コース	2年連続全国お米甲子園特別優秀賞のコシヒカリを使用し製造、販売
加美農業	加美農教育ファーム活動	全学科	「食と命・環境」について学んでいる本校生と一般参加者が交流することで互いに学び合える学習の場を加美農教育ファームとし多岐にわたる取り組みを行っている。学校農場受入形式、出前講座(生徒主体)形式がある	
登米総合産業	日本酒プロジェクト	農業科	近隣の酒造会社と連携し、栽培した米で日本酒を仕込む	
秋田	大曲農業	フラワーアレンジメント研修	園芸科学科	フラワー装飾技能士を招聘した授業を展開し、技能資格の取得に向けた取組
		長期インターンシップ	全学科	先進農家や農業法人等への10日間程度のインターンシップ
		保育園や介護施設訪問	生活科学科	施設訪問による実習及び交流
		田沢湖の中性化に関する研究	園芸科学科	電気分解による田沢湖の中性化及び電気分解された湖水の生物学的影響調査
		アグリマーケティングハウスの活用	全学科	本校の農産物等及び大仙市若手農家の農産物等の販売活動
		大仙市産業祭(大曲ヒカリオ)への出展	全学科	農産物等の販売及び郷土芸能部による演技
		農業科学館 秋の感謝祭への出展	全学科	農産物等の販売及び郷土芸能部による演技
		全国農業高校収穫祭(大丸東京店)への参加	全学科	農産物等の販売及び郷土芸能部による演技
		わけもんチャレンジ産祭(秋田ふるさと村)への出展	全学科	農産物等の販売及び郷土芸能部による演技
		埼玉東邦デパートでの販売会への参加	全学科	農産物等の販売及び郷土芸能部による演技
		農業科学館祭りへの参加	全学科	農産物等の販売及び郷土芸能部による演技
		企業との連携によるICT機器の活用	全学科	企業から無償貸与によりICT機器を農場に設置し、気象情報等をリアルタイムでPC及びスマホ等へのダウンロード
		大仙市農業振興情報センター研修生との交流	全学科	大仙市農業振興情報センターの研修生との交流を通じて、就農に向けた具体的な活動計画を作成
		ファシリテーション研修	全学科	街づくりファシリテーターによるファシリテーション研修の実施
	担い手育成に向けた取組	全学科	地域振興局との連携による、農業の担い手育成に向けたフォーラムの実施、担い手育成に向けた啓発事業の実施	
	金足農業	農場見学	生物資源科	追分小学校 農場見学 学校用苗購入
		県立大学生授業見学	全学科	県立大学生の授業を見学する。L科課研 F科総実・微経
		野菜苗販売会	生物資源科	農産物販売
		トントちゃんクラブ	生活科学科	ミニトマト苗植え

都道府県	学校名	活動名	学 科	概 要
秋田	金足農業	農場見学	生物資源科	秋田県視覚支援学校 高等部普通科 農場見学
		味噌造り講習会	食品流通科	みどり学園 味噌造り講習会
		野菜苗植え付け指導	生物資源科	追分小学校 野菜苗植え付け指導
		金農田植え(1年生)	全学科	金農田植え(1年生)
		金農パンケーキ販売開始	農業クラブ生徒	企業連携 パン開発 金農パンケーキ販売
		農場見学	生物資源科	秋田大学教育文化学部附属幼稚園 農場見学苗植
		秋田駅ふれあいフェスタ2019春	農業クラブ生徒	農産物販売会
		夢メッセ	造園緑地科	庭園見学
		農場見学	生物資源科	飯島南小学校 農場見学 苗購入
		苗の定植体験	農業クラブ生徒	国際教養大学留学生 苗の定植体験
		トントちゃんクラブ	生活科学科	さつまいも定植
		現場見学会	環境土木科	雄物川総合水防演習
		サツマイモ定植	生物資源科	秋田保育園 土崎カトリック幼稚園 サツマイモ定植
		秋田空港開港記念イベント参加	生物資源科	農産物販売会
		五城目朝市市神祭	生活科学科・農業クラブ	農産物販売会
		太平山パーキングエリア 花植え 庭手入れ	生物資源科・造園緑地科	パーキングエリア 花植え 本校生徒作成庭園手入れ
		追分駅草花植栽活動	生物資源科	駅前草花植栽活動
		農業科学館まつり	科学部	農産物販売および活動紹介
		食彩館くらら 販売会	生物資源科	農産物販売会
		復興支援事業 宮城県農業植樹事業	造園緑地科	復興支援事業 宮城県農業高校への植樹事業
		復興支援事業 カプトムシプロジェクト	造園緑地科	復興支援事業 カプトムシプロジェクト(赤崎小学校へのカプトムシ贈呈)
		測量技術研修会	環境土木科	測量技術研修会
		現場見学	環境土木科	秋田港現場見学
		現場見学会	環境土木科	現場見学会
		追分夏祭り	生物資源科	農産物販売会 ブラスバンド演奏
		秋田県農業試験場開放	生物資源科	秋田県農業試験場開放日 体験・研究発表
		農産物流研修会	生物資源科	農産物 物流に関する 研修会
		RIC CAD 講習会	造園緑地科	CAD による庭園設計講習会
		トントちゃんクラブ	生活科学科	親子クッキング「巻き寿司」
		ウイナーソーセージ作り講習会	農業クラブ	ウイナーソーセージ作り講習会
		トントちゃんクラブ	生活科学科	親子クッキング「スイートポテト」
		熟練技能者による日本料理講習会	生活科学科	熟練技能者による日本料理講習会
		巻き寿司講習会	生活科学科	巻き寿司講習会
	西目	酒米の栽培	総合学科 農業科学系列	酒米「秋田酒こまち」を地元作り酒屋と契約栽培。作り酒屋では純米大吟醸「醒(さ)」として販売している。

都道府県	学校名	活動名	学科	概要		
秋田	増田	プロジェクト活動	農業科学科	本校産の糯米から蜂蜜の代用となる糖質を生産し、活用するプロジェクト		
		ティーンズ地域活性化プロジェクト	農業科学科	横手市商工観光部との連携活動としてリンゴパンの商品開発を実施		
		農業体験交流学習	農業科学科	本校生徒が指導役を務め、小学校5年生および地域の方々と交流しながら、米作りの作業を通して年間5回学習		
		知的財産教育	農業科学科	知財力開発校支援事業の指定を受け、知的財産教育を通して地域資源の活用等に取り組む活動		
	秋田北鷹	JGAP・県 GAP 認証	生物資源科	イネ(JGAP)・ミニトマト(県 GAP)・ブドウ(県 GAP)認証に向けた取組		
		森林バスターズ	緑地環境科	高齢者所有林地の間伐ボランティア、地域病害木の伐倒等		
	能代西	アグリセミナー	生物資源科	地域振興教区と連携し、市内で雇用予定のある法人や農事組合等において短期・長期インターンシップや職場見学を年3回行っている。		
		学校農場開放	生物資源科	季節に応じて菜の花、ヒマワリ、コスモスを定植し、開花期にあわせて学校農場を開放している。		
		学校農場開放	生活福祉科	学校農場開放の際に地域住民や特養施設、園児等が来校した際に学科の特色を生かして対応している。		
		スマート農業の体験研修	生物資源科	ドローン及びホバークラフトを使った薬剤散布、無人トラクタ・田植機の見学。野菜温室では、病気予兆システムを導入している。		
		郷土の味講習	生物資源科	地域振興局と連携して、JA婦人部および集落起業団体の協力を得て郷土に残る食文化の伝統・継承に関する研修を実施する。		
		郷土の味講習	生活福祉科	地域振興局と連携して、JA婦人部および集落起業団体の協力を得て郷土に残る食文化の伝統・継承に関する研修を実施する。		
		支援学校の田植え実習補助	生物資源科	水田専攻生が、能代支援学校の田植え実習および稲刈り実習を補助。		
		花いっぱい運動	生物資源科	国土交通省と連携し、市内の主要幹線道路に設けられた花壇にペゴニアやサルビア等を定植。		
		PTAそば交流	生物資源科	能代市内および本校PTAとそば播き、そば打ち交流を実施。生徒も参加し、播種やそば打ちの際の補助員として交流に参加している。		
		デュアルシステム	生物資源科	3年生を対象に市内及び近隣市町村の農業関連法人・企業において短期就業体験を行い不本意入社・採用による早期離職を防ぐ取り組みを行っている。昨年度3名が参加し、うち2名が雇用された。		
		山形	村山産業	「花ひかり」プロジェクト	農業経営科	本校オリジナル清酒「花ひかり」をつくるプロジェクト。本校で酒米を栽培し、地元の酒造メーカーで日本酒へ。ラベルやタグなどは工業科、商業科も携わり、本校が目指す「農」「工」「商」連携が実現した。
				サトイモの苗生産から栽培、加工品開発に関する取り組み	農業経営科 農業環境科	本県を代表する郷土食「芋煮」で郷土愛や食文化を推進させるプロジェクト。サトイモをバイオテクノロジーを用いた苗生産で増殖することや栽培技術の改善や加工品の開発、販売を行っている。
	庄内農業		農福連携プロジェクト	食品科学	福祉センターと連携し、年6回程度、地域の高齢者、知的障がい者、小学生と野菜栽培や花植栽等に取り組んでいる。	
うどん大作戦			食料生産・食品科学	加工実習で製造した生うどんを地域のドライブイン・食堂等からメニュー化して商品化して頂き、地域の方々から食して頂いている。		
安達東	養蜂		総合	専門系列、農業コース畜産専攻班が、西洋ミツバチの飼育・管理を行い、採蜜・瓶詰・販売を行っている。道の駅とも連携し、地元の特産品として地域から好評を得ている。		
福島	岩瀬農業	グローバル GAP 認証	生物生産科・園芸科学科・ヒューマンサービス科	グローバル GAP 認証作物数日本一を目指している。		
	白河実業	ふれあい農園	農業科	地域の住民の方々から圃場の一部を開放し、農業を通じた交流活動を実施している。(新型コロナウイルス感染防止のため、圃場開放のみで交流活動を自粛)		
		白実チャレンジショップ	農業科	地域の活性化を目的に、毎月一回地元市街地の空き店舗にて本校農産物を販売している。(新型コロナウイルス感染防止ため、1学期活動自粛)		
	会津農林	GGAP	農業園芸科	イネ・カボチャについてのGGAPの認証を継続し、昨年度から認証を受けたソバについても認証を継続する		
		会津伝統野菜の栽培と普及	農業園芸科	地域の会津伝統野菜を栽培している農家と連携し、シードバンクとしての役割と、認知度を高めるための取組、会津伝統野菜の地域での栽培面積拡大を目指し、経営として成り立つ栽培方法の確立のために活動している		
		ドローンを活用した稲作栽培	農業園芸科	ドローンを利用して生育診断を行い、そのデータを元にドローンで薬剤や肥料を散布している		
		商品開発	農業園芸科 食品加工科	経営マーケティングプログラムの学習を通して、地域の農産物を利用した加工食品の商品開発に取り組んでいる		

都道府県	学校名	活動名	学 科	概 要
福島	会津農林	商品開発	森林環境科	経営マーケティングプログラムの学習を通して、コケと炭を利用したインテリアの商品開発に取り組んでいる
		キリ苗の生産	森林環境科	会津桐は良質の桐材として全国的に知っているが、現在では資源保有量が減少し、その生産技術も後継者不足で危機的な状況にある。そこで桐苗の効率的な生産方法を開発し、普及させる目的で研究に取り組んでいる
		ウルシ苗の生産	森林環境科	会津漆器の材料となるウルシ液の生産を地元で行うことを目的に、NPOや会津若松市と連携してウルシ苗の生産に取り組んでいる
		地域の伝統芸能の継承	早乙女踊り保存会	学校全体の有志で取り組んでいる。地域の伝統芸能である早乙女踊りの後継者がおらず、消滅の危機に遭った早乙女踊りを復活させた。昨年度はさらに、戦後失われていた「扇の舞」を復活させて新たに踊りに加え、民家の甲子園全国大会で文部大臣賞を受賞するなど活躍している
東京	大島	JGAP 取得(採卵鶏・鶏卵では東京都では初、教育機関では全国初)	農林科	本校では一般的な採卵鶏に加えて東京特産鶏である「純系しゃも」と「東京うこっけい」を分散飼養している。付加価値を高めるため教育機関として初の JGAP 家畜・畜産物「採卵鶏・鶏卵」の認証を取得。
神奈川	中央農業	農業クラブ活動	農業	MY PROJECT AWARD 関東圏 SUMMIT へ参加(ベスト20)
埼玉	熊谷農業	6 次産業への取り組み	生物生産工学科	学科で飼育している乳牛から搾乳した牛乳をもとにアイスを作り、地域のイベントや文化祭等で販売を行っている。
	杉戸農業	GAP 食材を使ったおもてなし	食品流通科	2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けてコロンビア選手団へのおもてなしとして梨クルミパンを開発した。
	川越総合	三芳町落ち葉掃き事業	総合学科	三芳町平地林において、落ち葉掃きを行い落ち葉堆肥作成過程とその使用により『環境循環型農業』を学ぶ
	羽生実業	羽生市との連携	農業経済科	羽生市の行っている地域創生イベント(世界キャラクターサミット等)に生徒がボランティアとして参加活動している。
千葉	流山高校	毎日農業記録賞	園芸科	高校生部門 優良賞
	下総	6 次産業化の取組	園芸	栽培したコムギ、ソバについて他学科(商業)と協力し、商標登録する。地域農家と連携し、乾麺に加工。6 次産業化について実践的に学ぶ。
	大網	白里海岸ハマボウフウの保護・再生活動	生物工学科	絶滅の危機に瀕している海浜植物ハマボウフウの保護・再生活動の研究。地域の環境保全の取り組みとして、地域住民や小学校と連携して活動を行っている。
		エゴマの特産品化を目指した活動	食品科学科	農薬、化学肥料不使用でエゴマの不耕起栽培を行い、収穫したエゴマの食品開発に取り組んでいる。種子や葉の栄養成分分析を大学と連携して行っている。
	上総	中山間ふるさと活性化チャレンジ事業	園芸科	平成28年度から、県農林水産部の支援により、地元の活性化活動に参加。本校は、地元の在来枝豆の普及活動を実施している。
		食育活動支援事業	園芸科	平成29年度から近隣小学校2校、中学校1校と連携し、地元の在来枝豆の普及活動と枝豆、大豆を利用した加工を実施している。
		花いっぱい運動	園芸科	アクアライン海ほたるの植栽、市役所、公民館、病院の植栽活動とプランタ設置の花いっぱい運動の継続。
		農家支援隊活動	園芸科	地域の高齢農家の手伝いや近隣の農家の方に手伝いを頼まれた時に生徒たちが出向いで農作業等を行っている。
茨城	水戸農業	茨城の農業を支える人材育成プロジェクト	全学科	北海道農業実習・鹿児島県種子島農業実習・県内先進農家実習や農業法人・関連企業などの体験実習や実技講習を実施し、就農や農業関連産業への就職・農業関係学校への進学に向け意識を高めている。
	真壁	全国募集	環境緑地科	石の日本三大産地の一つである真壁町、石材の加工を学べる学科で全国募集を行っている。
		GLOBAL GAP 取得	農業科	令和元年 11 月 1 日に GLOBAL GAP をシャインマスカットで取得。継続認証を目指している。
栃木	宇都宮白楊	本校産酒米 100%の純米酒醸造	農業経営科	地元酒蔵と連携して、本校で栽培した酒米「五百万石」を100%原料とした純米原酒「白楊舞」を生徒も仕込に加わって醸造、発売した。
		在来陸稲品種復活への取り組み	農業経営科	明治時代に宇都宮の篤農家が育成し、戦後途絶えた陸稲品種エソジマモチの栽培を半世紀ぶりに復活させ、地域に普及を図っている。
	鹿沼南	トマトの汚れを落とす洗浄剤の発明	食料生産科	第1回全国高校生農業アクション大会に応募し3年間研究をして大賞を受賞した。トマトの汚れを落とすため、洗浄剤の開発試験を企業と連携をして行い、課題解決に成功した。今後は商品化を目指して行く予定。
	栃木農業	市役所屋上庭園整備	農業土木科	市役所屋上庭園の植栽活動
	真岡北陵	ペンタゴンプロジェクト	生物生産科・農業機械科・食品科学科・総合ビジネス科・教養福祉科	農業系3科、商業、福祉の3大学科で連携して地域課題の解決に向けて取り組んでいる。
那須拓陽	牛部	農業経営科	本州一の酪農地帯における酪農教育において牛部が中心となり活動を展開している。	

都道府県	学校名	活動名	学科	概要	
群馬	勢多農林	ASIAGAP取得	植物科学科	キュウリ、トマト、日本なしでASIAGAPを取得。構築した生産・流通についての仕組みを学習活動に取り入れている。	
		地域資源の保護活動	バイオテクノロジー科	藤岡市鬼石「冬桜」の保全、高山村「リンドウ」の品種改良、神流町「アワバタダイズ」「あかじゃが」の生産に関する研究活動を行っている。	
		農場HACCP取得	動物科学科	高校では初となる農場HACCP(養豚)を取得。構築した生産・流通についての仕組みを学習活動に取り入れている。	
		技能五輪全国大会	緑地土木科	技能五輪全国大会の造園職種に12年連続出場している。	
		商品開発	食品文化科	製菓店と共同で「桑の葉パウンドケーキ」の商品開発を行っている。	
		花繭の作品制作	グリーンライフ科	繭で花を制作し、コサージュ、ブーケの作品に利用している。	
	利根実業	ユネスコスクール活動	全科	ユネスコスクール加盟校として、環境教育活動・食育活動・地域ボランティア活動に取り組んでいる。	
		野生動物被害対策	生物生産科	農業廃材を利用したイノシシの侵入防護柵研究、ミズバショウ群生地をシカの食害から守る活動に取り組んでいる。	
		お米をホワイトデーに	生物生産科	バレンタインのお返しに「ホワイトデーのお返しにお米を」の活動を全国展開している。	
		コミュニティーガーデン設営	グリーンライフ科	NEXCO 東日本と連携して高速道路のサービスエリアにコミュニティーガーデンを設営した。	
	伊勢崎興陽	サツマイモの植付け・収穫交流	総合学科	園児や小学生と共にサツマイモの苗を植え付け、秋には収穫を行う交流学习	
		花苗の植栽を通じた交流	総合学科	春と秋に老人ホーム、特別支援学校、幼稚園に出向き、花壇への花苗の植え付けを通じた交流	
		桑の葉を使ったお菓子の商品開発	総合学科	昔から養蚕業が盛んであった地域活性化のため、イベントや地域の商業施設、アンテナショップで販売している。	
	吾妻中央	商品開発	生物生産科	JA農産物加工場とのコラボによる県産品種の知名度向上を目指した商品開発と販売	
		地域交流	生物生産・環境工学科	草花の栽培技術を通じた花育、植花(飾花)やプランタ設置、行灯づくりによる地域交流や、小動物を活用したふれあい動物交流などを実施	
		地域貢献	環境工学科	吾妻農業事務所農村整備課、美野原土地改良区と連携し、測量技術やドローンを活用して美野原地区一帯の農業用水路、農道を含めた地形図作成、水路管理データベース作りを支援	
	大泉	特定外来生物からサクラを守る～クビアカツヤカミキリの調査と対策について	生物生産科	特定外来種であるクビアカツヤカミキリの幼虫が、地域のサクラやモモといったバラ科の樹木に被害を与えている。このクビアカツヤカミキリの被害を食い止め、サクラを守るために被害状況の調査と対策に取り組んでいる。	
		茂林寺沼湿原の保護活動	グリーンサイエンス科	館林市にある茂林寺沼湿原は、湿原植物などの植生が豊かなことから、群馬県の天然記念物に指定されている。近年、外来植物であるキョウブなどの繁茂により、自生種であるカキツバタの生息が脅かされている。そこで、茂林寺沼湿原の保全のために、バイオテクノロジー技術を活用したカキツバタの増殖と、外来植物の除去作業に取り組んでいる。	
		地域特産品の開発	食品科学科	大泉町にはブラジル人の居住割合が全国でも上位であり、ブラジル文化が地域に根付いている。そこで、ブラジルのコーヒーやシュラスコなどを活用して新商品開発に取り組む、地元の産業祭などで販売を行うことで地域振興に貢献している。	
	山梨	農林	県農大と連携授業	システム園芸科	学校設定科目「地域と農業Ⅱ」において、県農業大学校との連携授業を行う。
		笛吹	笛吹市との包括連携	全学科	笛吹市との連携事業により授業や実習、課外活動で学んだことを深化させ、積極的に社会参画できる人材育成を行う。
シャインマスカットの台湾輸出販売実習			果樹園芸科	学校圃場で生徒が生産したシャインマスカットを販売ラインにのせ、台湾へ輸出、現地での販売実習から、グローバル化を体験し、将来の農業関連人材の育成を行う。	
静岡	下田高校南伊豆分校	河津桜切り枝出荷	園芸科	早咲き桜として全国的に有名な河津桜を、地域の農業振興の一つとして切り枝出荷する試みを地元のJAや農業技術研究所と連携を図りながら進めている。	
	田方農業	有機JAS認証	生産科学科	野菜、コメの有機栽培を通じて安心・安全な栽培を啓蒙している。	
		静岡県版GAP、HACCP認証	動物科学科	畜産における静岡県版GAPおよび乳製品の静岡県版HACCPの認証を通して生産管理工程について学習している。	
	富岳館	地域農産物のブランド化と地域農産物を利用した商品開発	総合学科	地域農産物のブランド化と地域農産物を利用した商品開発をプロジェクト学習で行っています。現在取り組んでいる内容は富士宮の梅を利用したお菓子の開発と畜産加工品の開発などを農協や企業と協力して行っています。	
	磐田農業	園児のミカン狩り体験支援	生産流通科	地域の保育園等の園児約900人を校内ミカン園にてミカン狩り体験支援を行っている。ミカンの説明を紙芝居形式でわかりやすく説明し、収穫の補助等を行い、園児及び保護や園職員に好評である。	
		学校林山林実習	1年生全科	4月に学校林に隣接するお寺に宿泊し、集団宿泊研修を行うが、研修内容の一つとして学校林の管理実習を行っている。	

都道府県	学校名	活動名	学科	概要
静岡	磐田農業	タイとの国際交流事業	希望生徒	タイ王国立パヤオ農工専門校と相互交流を行っている。定期的に生徒と教員が約10名ずつ、1週間、訪問、受け入れを行っている。
	浜松大平台	自農場から採取したイチジク酵母による商品開発	総合	本校イチジク園から見つけた有用酵母を工業試験場に登録、この酵母を使用したパン作りを地域パン職人と継続実施している。
	浜松湖北	湖北 MAGIC	普通科・産業マネジメント科	普通科と産業マネジメント科(農業・工業・商業)の生徒が専門分野を活かして連携して「ものづくり」と地域貢献などを目指す活動
新潟	長岡農業	地域専門高校間連携	全学科	長岡市内の専門高校(農業・商業・工業)が連携し、模擬株式会社「長岡CAT」を設立し、定期的に常設店を運営している。市内イベントなどにも積極的に参加している。
富山	入善	new 農チャレンジ入善ジャンボ西瓜研究	農業科	入善町特産品となっている入善ジャンボ西瓜の栽培に関する研究を町とのタイアップにより課題研究の一課題として取り組んだ。
		農商校連携事業	農業科	農協会壮青年部・入善町商工会青年部・入善町福祉施設と本校農業科の連携事業として激辛トウガラシの栽培・加工・販売に取り組む。
石川	七尾東雲	環境保護活動・保護研修	総合経営学科	石動山ユリ苗・ササユリ苗の提供と希少植物の増殖研修
		里山環境保護活動	総合経営学科	七尾市八田地区の棚田保全活動
	翠星	GROBALG.A.P への取り組み	総合グリーン科学	農学分野を学ぶ生徒が本校で栽培する「米」においてGROBALG.A.P認証取得へ向けた活動を行っている。
		模擬株式会社としての取り組み	総合グリーン科学	食品科学分野を学ぶ生徒が「SUISEI FACTORY」という模擬株式会社を立ち上げ、地域活性化へ向けた商品の開発・販売等の活動を行っている。
	翠星	起業家精神を身につけたアグリビジネス人材育成プロジェクト	総合グリーン科学	起業家精神を身につける育成プロジェクトとして、HACCP 取得に向けた取り組みをおこなっている。
	津幡	養蚕復活プロジェクト	総合学科	養蚕の実践、桑の栽培、シルク・桑を用いた商品開発、普及啓発活動
		トキの普及啓発活動	総合学科	トキの普及啓発活動、学習交流活動
福井	若狭東	薬用植物の普及	地域創造科	薬草栽培から商品化に向けて地域企業と連携し研究しています。
		薬膳料理のメニュー開発	生活創造科	薬膳料理について専門家や地域の飲食店から意見をいただいています。
長野	下高井農林	伝統産業「小沼ほうき」復活の取り組み	グリーンデザイン科	地域の伝統産業である「小沼ほうき」に注目し、小沼ほうき振興会とともに、商品化や情報発信に取り組んでいる。
		のうりん食堂の開店	アグリサービス科	飯山市内の休業中の店舗を借用し、高校生の企画・運営により、手打ちそばを提供する食堂を開店。
		新規就農者への農業指導	アグリサービス科	「百姓塾」の名称で飯山市の雇用ビジネス推進課と連携し、地域の方々を対象に生徒が講師となり、農業実践講座を運営。
		シブガキ応援隊	グリーンデザイン科	木島平村内で有害鳥獣発生の原因となる放置された渋柿の収穫活動を、シブガキ応援隊と称し北信地域振興局と合同で実施。
	須坂創成	地域の緑化活動	環境造園科	長野市内の自治区内のポケットパークの設置において、その在り方を自治区住民と造園クラブ員が意見交換をしながら、住民が求めるポケットパークの在り方を一緒に考え、ポケットパーク施工にも参加した
		信州すざか農業小学校	園芸農学科	須坂市主催で応募による小学生が月2回程度、年間約12回、土曜日にボランティア農業者から農業を学び、その指導アシスタントとして参加し、野菜、水稻の栽培に当たる。また、学校で味噌作りの講座(1日)も担当する
	高山村ワイン研究会	高山村ワイン研究会	食品科学科	高山村が主催する研究会(生産・醸造・振興部門)に県外も含め募集により応募した会員とワイン産業の振興を目的に情報や技術の交流を行う
		更級農業	グリーンライフ科	地元 JA と連携して小学生とその保護者を対象に農業塾を開催。年15回講座を開講している。
	佐久平総合技術浅間キャンパス	小学校交流	食料マネジメント科	小学校3校とサツマイモ・落花生などの栽培を通じた交流活動、搾乳体験、アイスクリーム作りなどを通じた交流活動を行っている
		小学校交流	生物サービス科	小学校2校と花の栽培、駅への飾り付けなどの交流活動、動物とのふれあいや動物観察などを通じた交流活動を行っている
		小学校交流	食農クリエイト科	小学校2校と稲作を通じた交流活動、ジャムやパン作りなどの食品加工を通じた交流活動を行っている。
		外部講師	生物サービス科	フラワーアレンジメント、ドクトレーニングなどについて外部講師より指導を受けている。
外部講師		食農クリエイト科	地元調理師会の調理師を招き、調理講習を行っている。	
教育課程		食料マネジメント科	商業科目「マーケティング」を履修し、6次産業化に向けた学習を行っている。	

都道府県	学校名	活動名	学科	概要	
長野	佐久平総合技術浅間キャンパス	教育課程	食農クリエイト科	商業科目「商品開発」を履修し、地域農産物を利用した商品開発のための授業を行っている。	
		無農薬・減農薬栽培	食農クリエイト科	地域で昔、水田で小鮒や鯉を飼育していたが、これを伝承し、水田で小鮒飼育をして水稲栽培をしている。	
		企業連携	食料マネジメント科	地元の造り酒屋と連携して、サツマイモ栽培を行い、焼酎を製造してもらい、ラベル等生徒が考案し、販売している。	
		企業連携	食農クリエイト科	地元の造り酒屋と連携して、酒米栽培を行い、大吟醸酒を製造してもらい、ラベル等生徒が考案し、販売している。	
		宿泊実習	全科	宿泊実習で乳牛の搾乳を行っている	
		農業クラブ活動	農業クラブ	地元の JR 駅の飾花、清掃美化活動を20年以上継続して行っている。	
	下伊那農業	鹿革の活用	アグリサービス科	有害駆除された鹿の皮を使った、レーザークラフト「下農レーザー」のブランド化と販売をとおして命の学習を深める。	
		料理コンテスト	アグリサービス科	地元農業経営者グループやJA等と連携し、テーマ食材に沿った料理の作成と披露・試食会を実施し、投票により各種賞を決め表彰する	
		各種調理技能検定	アグリサービス科	キュウリ・卵焼き・太巻き・おせち料理検定を実施し、技術の定着を図る。	
		保育園との交流	アグリサービス科	年間を通して保育園とのトウモロコシやサツマイモ栽培交流、動物とのふれあい目的の遠足受け入れ、保育園を訪問し人形劇の上演。	
		HONDA エコマイルッジチャレンジ	農業機械科	1リットルのガソリンで何 Km 走行できるか競う大会に毎年出場している。	
		ドローンの導入試験	農業機械科	ドローンを使い圃場の様子を2ヶ月毎に撮影している。また、よこね田んぼの1年を撮影し地域連携にも貢献している。	
		人形劇フェスタへの協力	園芸クリエイト科	毎年8月に飯田市を会場に実施される「人形劇フェスタ」において、会場装飾のための花の提供と設置に協力している。	
		企業インターンシップ	食品化学科	食品製造関係企業で、夏季休業中に1年生全員がインターンシップを行う。	
		シードルの試験醸造	食品化学科	リンゴを使用した醸造酒「シードル」の研究に取り組み、商品化を目指す。	
		煎茶道講習	食品化学科	3年生を対象に学校で製茶した煎茶を使い、お茶の入れ方・飲み方等の作法について専門家から学ぶ。	
		菓子講習	食品化学科	2年生を対象に和菓子・洋菓子を地元企業の専門家を講師として、作り方を学ぶ。	
		りんご並木花いっぱい交流会	農業クラブ	飯田東中学校生徒とりんご並木花壇づくりを行う。種まき・育苗・植付までを共に行い交流を深めている。	
		飯田養護学校との交流	校友会	飯田養護学校の高等部の生徒35名が来校し、本校校友会役員と風船パレーで交流会を実施している。	
	塩尻志学館	ワイン醸造	総合学科	ワイン用ブドウの栽培管理実習からワインの醸造実習までを一貫して学ぶことができる。	
	南安曇農業	商品開発	グリーンサイエンス科	食品加工品に関わる新商品開発。安曇野市との商品開発連携事業。ふるさと納税返礼品。	
		マーケティング塾	生物工学科	県内商業高校・松本大学と連携して商品開発。販売方法を学習(6次産業化)	
		特別支援学校との交流	グリーンサイエンス科・生物工学科	果樹栽培での交流	
		出前授業	グリーンサイエンス科・生物工学科	地域公民館や養護学校分教室、小学校、保育園、老人福祉施設における出前授業(りんご栽培・寄せ植え・ふれあい動物園)	
		安曇野市連携事業	全学科	姉妹都市の東京吉祥寺での販売活動を実施	
		建設系学科高校生の就労促進事業	環境クリエイト科	建設機械、型枠製作、鉄筋結束、現場見学会、測量講習会の実施	
		学校開放講座	全学科	地域の方々を対象として、生徒が講師となり、様々な講座を運営	
	愛知	安城農林	「岡崎おうはん卵」普及プロジェクト	動物科学科	西三河地域で開発された純国産鶏「岡崎おうはん」を岡崎市と協働して全国に普及させるプロジェクトを実施している。
		稲沢	稲わら活用プロジェクト	園芸科	地域の稲わら細工職人に様々な稲わら細工指導を受け、全国でも有名な奇祭である、国府宮神社の「はだか祭り」に奉納する米俵を学校で栽培した稲わらを使用して作成している。さらに多くの人に技術伝承できるようにするため、わら細工のマニュアル冊子を作成した。
			ふれあい農園	園芸科	市の広報で募集した地域住民と露地野菜専攻3年生がコミュニケーションを取りながら農業実習を行う。毎回生徒は実習内容を事前に黒板に書き、自ら参加者に説明し、各班に分かれて実習指導を行っている。

都道府県	学校名	活動名	学 科	概 要
愛知	田口	スマート林業	林業科	林業における近代技術の導入(ドローン・高性能林業機械)によって担い手の育成をはかる事業をしています。
	渥美農業	G=GAP の取り組み	施設園芸科	本校施設園芸科では、日本初となる花の G-GAP の今年度の審査に向け生徒が取り組んでおり、審査に合格すれば日本初の花の G-GAP 認証取得となる見込みである。
	猿投農林	校外での造園計画	環境デザイン科	造園デザインコース3年生が、地元企業の丸和電子化学(株)の屋上花壇をデザインし、栽培した草花を植栽している。昨年度は、「虹」と「天の川」、雨上がりの空にかかると夜空の広がる満天の星を植物で表現した。
		お弁当コラボ企画	生活科学科	アグリフード研修班の生徒が、地元食材を使ったお弁当のアイデアをもとに、メグリア(トヨタ生活協同組合)がアレンジし、「栄養満点! 元気いっぱい弁当」と「2色ご飯の味満載弁当」の2種類が販売された。
	佐屋	弥富文鳥の文化継承活動	生物生産科	白文鳥発祥の地、弥富市の文鳥文化を保存、継承するため、文鳥とのふれあい体験や、文鳥をモチーフにした商品開発など、様々な弥富文鳥の啓発活動や、文鳥の繁殖に取り組んでいる。
	新城東作手校舎	サギソウの調査研究	人と自然科	サギソウは準絶滅危惧種に指定され、旧作手村の花であり、旧作手高校の校章でもあった。その意思を引き継ぎ、自生地での調査研究、無菌播種技術での増殖、地域の中学校への出前授業など地域に根ざした活動をしている。
	新城有教館	奇跡のひまわり普及活動	園芸デザイン系列	阪神淡路大震災の際亡くなられた少女の住んでいたところから生えたひまわりの種を地元JA愛知東農協と協力し全国に広める活動を行っている。
	鶴城丘	市民農園	アグリサイエンス系列	校内に40区画(各16㎡)の農園があり、利用者と生徒が手紙を通して栽培の様子等について交流している。
		資格取得	環境デザイン系列	企業の方を講師として招き、小型車両系建設機械の資格取得をしている。
	半田農業	創立120周年記念清酒「夢坂」製造	食品科学	地域酒造会社と連携し、本校栽培米を原料とした清酒を製造した。生徒が酒造会社に出向き、技術指導を受け製造し、名称やラベルデザインも生徒が考案した。テレビや新聞でも報道され、500本はすぐに売り切れた。(99字)
半田農業	中部国際空港ターミナル通路壁面緑化	農業科学	本校で栽培したパッションフルーツをセントレアのターミナル通路壁面に植え、夏場の日差し対策や癒しの空間づくりに取り組む。この果実を港内レストラン等で活用した。屋上・壁面緑化技術コンクールで高校初の入賞。(100字)	
岐阜	岐阜農林	トマトの無化学農薬栽培	園芸科学科	本学科の野菜部門では無化学農薬でのトマト長期栽培に取り組んでいる。天敵利用により病害虫を抑え込んでの実用栽培で、地域の農家が化学農薬の利用を当たり前としていた中で誇るべき取組であると考えている。
		廃棄エンジンを利用したニンジンサイレージの活用と普及	動物科学科	近隣地域で廃棄されるエンジンをサイレージ化し、乳牛に与え繁殖効率を安定させる。牛舎の繁殖成績安定と、地域の農家の廃棄コストの削減でお互いの共存を目指す。
		マクワウリ鮎のフルーツ魚としての確立	動物科学科	地域野菜である「マクワウリ」を本校のアイスクリームに利用し普及活動を続けた。次に県の代表的な特産である鮎の養殖魚の付加価値を付けるためにマクワウリの香りを付けて味わってもらおうための取組。
	大垣養老	食用ひょうたん地域を救え! ~瓢箪倶楽部秀吉の挑戦~	食品科学科	養老町の特産品である瓢箪を用いたグリーンカーテンやイルミネーションによる町興しから始まり、2020年東京オリパラの暑熱対策採用に向けての地道な取組。
	恵那農業	次米みのり祭りの参加	園芸科学科	昔恵那の地で栽培したお米を朝廷に献上した歴史を再現したイベントに参加し、生徒が田植え、稲刈り、踊りなどを行う。
		笠置山栗園植樹・収穫祭へ参加	園芸科学科	恵那市が取り組んでいる笠置山栗園における植樹祭や収穫祭、剪定講習会への協力。
		JA ひがしみの農業祭	園芸科学科・食品科学科	地域の最大の農業イベントにおいて実習生産物の販売・エゴマパン、恵那の販売など本校の実習製品や活動内容を紹介。
		シクラメンのオリジナル品種の開発	園芸科学科	シクラメンの新品種を開発し、地域の農家にも普及活動を行っている。
		有機キュウリ栽培	園芸科学科	キュウリ栽培において有機 JAS の認証を取得し、地域のスーパー等で販売する他、化粧品の原料としても使用されている。
		世界ラン展への出展	園芸科学科・園芸デザイン科	25年前から東京ドームで開催される世界ラン展の出場しており、ディスプレイ審査部門において最優秀賞3回、優秀賞2回などを獲得している。
		絶滅危惧種保全活動	園芸科学科	バイオ技術を用いた絶滅危惧種の保護活動を展開(サクラソウ、フクジュソウ、ヒゴタイ、ヤチシャジン、サギソウ)。
		あじめこしょうを使った商品開発	食品科学科	地元の伝統野菜あじめこしょうを使用したケチャップ「辛いケチャップあいこの味」や、ポップコーン「あじポップ」の商品開発を行った。
		栗柄の有効利用	食品科学科	恵那市の特産品である栗きんとんの製造過程で出る栗柄の堆肥化や菌床に用いたキノコ栽培などの有効活用する研究を行った。
		ハニープロデュース	食品科学科	耕作放棄地再生プロジェクトの推進のため、恵那市・建設会社・食品科学科の三者間で協定を結びエゴマの栽培および商品化を行っている。
	ハニープロデュース	食品科学科	養蜂を行い、とれた蜂蜜を使い地元企業と連携して蜂蜜、パフェ、かき氷、食パンなどの商品開発を行っている。	
	空心菜による水質浄化	環境科学科	中国野菜の空心菜を用い、阿木川ダム湖、名古屋の堀川、などの水質浄化のほか、仙台で津波被害のあった田の塩分除去活動も行っている。	

都道府県	学校名	活動名	学科	概要	
岐阜	恵那農業	棚田の保全	環境科学科	恵那市にある坂折棚田の保全活動を行っている。	
		環境保全活動	環境科学科	里山の保全活動として、企業と連携し活動雑木の整理伐、森林内の温度、湿度、照度、土壌調査を行い森林内の環境を把握する活動。	
		フラワーロード	園芸デザイン科	恵那駅前の花壇や、公園の花壇装飾などを地域の住民と一緒にやっている。	
		園芸福祉活動	園芸デザイン科	施設の利用者の方々と一緒に鉢植えの制作や、アレンジメントの制作を行いながら園芸福祉活動を行う。	
		食農教育活動	園芸デザイン科	食農教育活動では、近隣の保育園で、農業の役割や食料の大切さを子どもたちに教える活動を行っている。	
	中津川市立阿木	地域の加工場を目指して	生産科学科	本校は中山間地に位置し、地域の農業も零細なところが多く、高齢化も激しい。そのような中、地域の農産物を活かした加工品を作り、農家の収入増に繋げようと取り組んでいる。	
三重	四日市農芸	GAP認証米でお酒造り	生産科学科	グローバルGAP取得米で酒蔵さんとインターンシップを通してコラボし日本酒、梅酒を造る	
		GAP認証マコモタケでレトルトカレー	生産科学科・食品科学科	アジアGAP認証マコモタケを活かしたレトルトカレーの製作	
		MPS認証の取り組み	園芸科学科	花の栽培工程管理(MPS)を取得	
		技能五輪全国大会	環境造園科	技能五輪全国大会に連続して出場している	
		もち小麦の商品開発	食品科学科	地域の特産物である、もち小麦を使った商品開発に取り組んでいる	
		みのりの丘マーケット	生産科学科・食品科学科	町内のJA駐車場で年7～9回地域住民たちへのマーケットを開く	
	久居農林	わくわく農林塾	全学科	地元の幼稚園・小学校・自治会などを対象に、各コースの教育内容・活動を中心に生徒が講師となり体験学習を行う。	
	明野	倭がらし	生産科学科	農福連携、障がい者雇用の創出、日本固有種のカラシナの普及を目的に、地元福祉施設こいしらの里、愛知県のからし専門会社社美ノ久と協力。本校の畑でこいしらの里の利用者とカラシナを栽培し、収穫したカラシナ種子を美ノ久が製品化した。	
		赤飯弁当	生産科学科	明高米のPR・伊勢市の活性化を目的に、地元老舗餅屋へんばや商店に協力いただき、既存商品であるへんばや商店の赤飯弁当をベースに、「明高米あゆみもち」使用赤飯弁当を作っていた。	
		やさいも大福	生産科学科	明高米のPR・伊勢市の活性化を目的に、地元老舗菓子屋藤屋窓月堂に協力いただき開発。原材料である、もち米、うるち米、サツマイモは本校で栽培したものを使用。「明高米」の焼き印を入れ、1ヶ月限定で1万個売り上げた。	
		伊勢あかりのぼーく	生産科学科	本校生産の豚肉をブランド化しようと地元・伊勢屋精肉店と連携し、ネーミング。由来は「地域を明るく照らしたい」との想いから、「明野」を「明かり野」と読み、普及を目指しており、県内レストランなど様々なところで提供されている。	
	明野	肉みそ「やん」	生産科学科	本校生産豚肉「伊勢あかりのぼーく」を使用した加工品の開発を目指し、伊勢屋精肉店と連携して生まれたもの。あかりのぼーくと地元の味噌製造業者2社(糀屋・伊勢角屋)の味噌を使用し、地元の愛が詰まった商品。	
		商品開発プロジェクト	食品科学科	ローソンと共同で、一昨年県産食材を使ったスイーツ「伊勢抹茶のもっちり生どら焼」(1個165円)を、昨年県産の伊勢茶を使ったパン「ザクザクメロンデニッシュ」(1個130円)開発した。	
	相可	バイオマス消化液の研究	生産経済科	本校食物調理科の食品残渣をプラントに投入、消化液を作出。消化液を葉物野菜の液肥として散布、生産物は製油会社で「バイオバジルオイル」として商品化。地元多気町ふるさと納税返礼品としても採用されている。	
		伊勢芋の種芋栽培の周年化	生産経済科	地元伝統作物「伊勢芋」の密閉型育苗施設による細分割増殖法の実証研究に取組んでいる。本来露地で栽培する伊勢芋を環境制御した施設内で栽培、極小の切片を活用し一年中種芋の生産ができないかという研究である。	
		資格取得と進路保障	環境創造科	測量士の高校生合格者数が全国トップクラス。卒業生の約7～8割が公務員に合格している。	
	伊賀白鳳	地域交流	生物資源科	地域の公民館等で寄せ植え教室を行う。	
	滋賀	湖南農業	ASIAGAP/JGAP	農業科	作物班3年生15名の生徒が、ASIAGAP Ver.2.2 穀物 / JGAP 2016 穀物(精米)の認証取得に向けて取り組んだ。
			認証取得に向けて		8月に行われた審査当日は、生徒全員が審査員と主体的に受け答えすることができ、必須項目で97.4%の適合結果を出すことができた。
			伝統野菜を利用した特産品開発	食品科	滋賀県草津市の伝統野菜「山田ねずみ大根」の種の保存から商品開発まで取り組んだ。 本校農業科が栽培した大根を、食品科の生徒が昔ながらの材料と方法でたくあん漬け作り、地域の特産品としてPRすることができた。
高校連携によるフラワーアレンジメント製作			花緑科	「第54回全国高等学校体育連盟研究大会」において、本校の生徒が歓迎アトラクションを担当した。 信楽高校陶芸部と共同して花器製作を行い、本番当日ステージにて本校生による花の生け込みを披露することができた。	

都道府県	学校名	活動名	学科	概要
滋賀	長浜農業	ICTを活用した分娩学習	農業科	NTTドコモのサービス「モバイル牛温恵(体温センサーを用いた母牛の遠隔管理サービス)」を導入し、分娩兆候をスマートフォンで確認し、スムーズな分娩への対応をおこなっている。
		地域伝承野菜の研究	農業科	滋賀県湖北地域(湖北町尾上)で古くから栽培されている尾上菜を後世に伝承する研究活動を長浜市や長浜バイオ大学と一緒にこなっている。
		在来そばの研究	農業科	そばの発祥の地ともいわれる滋賀県米原市(伊吹地域)で栽培されている伊吹そばに関する研究を米原市と協力しておこなっている。またそば打ちの技術を習得し、そばの普及活動にも力を入れている。
		花育活動	園芸科	高校で栽培した花苗を活用し、地域の公民館や地元JJAが主催する寄せ植え講習会に講師として参加して、寄せ植えのコツや管理方法について指導している。
		ジビエ普及活動	食品科	地元猟友会と協力し、山の厄介ものであるジビエを普及させる活動。地元のイベントや校内の販売会などで、老若男女が食べやすいレンビを研究し、食べてもらい認知度とおいしさを広めている。
		長浜市特産品開発	食品科	長浜市と産・官・民が運営している研究農場で栽培されたトマトを活用し、市内にある3高校が協力して新商品を開発、プロデュースしている。
		ヒマワリプロジェクト	園芸科	福島県にあるNPO法人シャロームの企画する、油糧用ヒマワリ栽培に参加している。これは、東日本大震災における原発災害に伴う、障害者授産施設への支援を目的に取り組み、併せて、地域の景観形成に関わるまちづくりと6次産業化について学習している。
	八日市南	ムラサキ・6次産業化プロジェクト	農業科	令和の元号で注目されている「万葉集」額田王と大海人皇子の相聞歌の舞台となった蒲生野の御料地で栽培されていたとされるムラサキの栽培・普及に取り組んでいる。
		八南レストラン・政所茶プロジェクト	食品科	東近江地域と本校で栽培した食材を使った地産地消の高校生レストランの取り組みと奥永源寺の銘茶「政所茶」の復活の取り組みでいる。
		暮らしのデザインプロジェクト	花緑科	愛知川河辺林の保全活動や学科で学んだ知識と技術を生かした花育活動、水路の水を使った小水力発電による公園の街灯の電力供給などの取り組みでいる。
		滋賀県版キャトルステーション事業	農業科	本校で生まれた子牛を県の畜産技術振興センターへ一定期間預けた後、買い戻す滋賀県版キャトルステーション事業を活用し、畜産経営の経営改善について実証研究に取り組んでいる。
		エコフィード連携事業	農業科	近隣の製菓工場から、廃棄されている規格外の菓子を受け、豚の飼料として利用し、飼料として利用した場合の肉質向上の調査及び飼料費軽減実証実験に取り組んでいる。
	京都	桂	TAFSプログラムにおける課題研究活動(概要)	植物クリエイト科 園芸ビジネス科
TAFSプログラムにおける課題研究活動(1)			植物クリエイト科 園芸ビジネス科	日本の野芝を系統分析し、京都の固有種を地域と協力して生産・保存に取り組む。また、未利用資源(MAP)を活用した土壌環境改善などにも取り組む。
TAFSプログラムにおける課題研究活動(2)			植物クリエイト科 園芸ビジネス科	養液栽培と土耕栽培を用い、主にトマトを主体とした植物の高品質化に関する研究を行う
TAFSプログラムにおける課題研究活動(3)			植物クリエイト科 園芸ビジネス科	食品廃棄物(コーヒー残渣)を使用し、菌床利用による堆肥化の研究を行う
TAFSプログラムにおける課題研究活動(4)			植物クリエイト科 園芸ビジネス科	京の伝統野菜を活用したソーシャルビジネスや利用に関するコンテストへの出場を通して、食文化の継承と食育活動を行う
TAFSプログラムにおける課題研究活動(5)			植物クリエイト科 園芸ビジネス科	植物バイオテクノロジー(植物組織培養)の技術を応用し、また生産者と協力し、栄養繁殖系植物の生産プログラムの構築や新品種の育種に取り組む
TAFSプログラムにおける課題研究活動(6)			植物クリエイト科 園芸ビジネス科	地域の耕作放棄地の利活用をめざし、地域発祥のイネの栽培や、養蜂を通した蜜源植物等の育種などに取り組む
TAFSプログラムにおける課題研究活動(7)			植物クリエイト科 園芸ビジネス科	栽培が難しいとされている根菜類の養液栽培の栽培技術を確立するために、植物の根系と土壌に関する調査研究活動に取り組む
北桑田			高性能林業機械講習	京都フォレスト科

都道府県	学校名	活動名	学科	概要	
京都	綾部	即売会	農業科、園芸科、農芸化学科	実習等で生産した野菜や花、加工品を生徒が地域の方々へ販売を行う。	
		クリスマスケーキ製造販売	農業科、園芸科、農芸化学科	全学科の三年生が協力してクリスマスケーキを製造し、地域の方々に販売を行う。また地域の老人ホームなどへ作製したクリスマスケーキを寄贈するボランティアも実施している。	
		由良川クリーン作戦	分析化学部	近隣を流れる由良川のゴミ収集を綾部市に呼びかけて参加者を集い、ゴミ拾いを実施している。	
		東祭	農業科、園芸科、農芸化学科	年に1度実習で作製した生産物を大々的に地域の方々へ販売する行事。収穫感謝祭も併せて実施している。	
	久美浜	松林再生プロジェクト	総合学科(生産科学系列)	松枯れのひどい海岸林に種子から育てた松苗を植栽し、以後生育調査や管理を行っている。(8年目)	
	農芸	白小豆試験栽培	農産バイオ科	羊羹で有名な地元企業からの依頼で、菓子用白小豆の試験栽培を行い、地元農家への普及を目指している。	
		酪農教育ファーム活動	農産バイオ科	園児や小学生・中学生の見学や体験を受け入れ、牛乳がどのように生産されているのかを生徒たちが教えている。	
		作庭活動	環境緑地科	自治体や地元企業等からの依頼に応じ、生徒がデザインから施工までを行い、庭作りで地域に貢献している。	
	大阪	農芸	大阪伝統の鴨産業の復活と振興	資源動物科	農芸鴨のブランド化、企業連携による商品開発と普及活動により、かつて日本一の生産量を誇った大阪鴨産業の復活と復興をめざす。
			大阪伝統の葡萄産業の復活と振興	ハイテク農芸科	企業連携によるブ葡萄新品種開発支援により、かつて日本一の栽培面積を誇った大阪葡萄産業の復活と振興をめざす。
ゼロエミッション			全学科	ハイテク農芸科より栽培残渣や販売不適合物、食品加工科より製造加工残渣等を飼料化し、資源動物科への未利用資源資料として給餌、循環システムを構築。	
発信力強化と地域創生			ハイテク農芸科	企業連携により、オーガニック映画祭の運営やアグリフェスを開催、地域住民に一般公開、	
ネリカ米の栽培と普及活動			ハイテク農芸科	アフリカ種系のネリカ米の栽培と普及・広報及び国際協力活動。	
子ども食堂			食品加工科	区役所と連携により子ども食堂参画。	
災害備蓄品の開発			食品加工科	災害時の備蓄品として、ハイテク農芸科の米と野菜、資源動物科の豚肉を使用してレトルトカレーを開発。	
高校生レストラン			食品加工科・資源動物科	スイーツ製造と提供を中心とした高校生カフェレストラン、農芸鴨を用いた菓膳会席料理提供の高校生レストラン、農芸鴨を用いたラーメンと丼を提供する高校生ラーメンレストラン。	
酪農教育ファーム			資源動物科	酪農教育ファーム認定農場として、近隣小中学校への活動を展開。	
商標登録ブランドの強化			資源動物科	ブランド化したのうげいポークの更なる品質向上にむけた研究所との連携と、飲食店企業連携による商品化と百貨店での販売促進。	
アニマルセラピーの実践			資源動物科	JRA との連携によるホースセラピー、馬調教訓練および家鴨をもちいたダックセラピーの効果検証と推進活動として百年の丘(一般公開用の校内の動物行動生態展示場)での活動。	
ヤギ除草			資源動物科	環境保全の一環としてヤギを地域施設等に貸し出して除草を行い環境学習を実践。	
農福連携			資源動物科	就農支援やファームセラピーを目的とした支援学校や登校支援スクールとの教育ファーム活動および大阪府エルチャレンジ企画との連携による農福連携推進イベント参画。	
食育教育ファーム			資源動物科	家畜の誕生から飼育、屠殺解体、そして調理をして食するところまでを中学生に1年間をかけて継続して教育ファーム活動を行い、農と食を通じて命の大切さを伝える活動を実践。	
伝統食文化・技術の伝承		資源動物科	門外不出の大阪伝統食鳥処理技術(鴨の大阪割り)を特別に継承、企業連携による技術と文化の継承。		
園芸		地域貢献・連携	フラワーファクトリ科	近隣公園、中学校、施設の花壇共同制作	
		フェスティバルでの指導活動	バイオサイエンス科	豊中市、池田市	
		活動普及	バイオサイエンス科	手作りパン、そば打ち	
		食育普及活動	バイオサイエンス科	近隣保育園等の交流、食育活動	
貝塚		A-のう祭	総合学科	農業科目で栽培・収穫した生産物の販売会	
兵庫	播磨農業	有機JAS認定水稲栽培(ヒノヒカリ)	農業経営科	平成13年より認定を受け、百貨店等で販売	

都道府県	学校名	活動名	学科	概要
兵庫	播磨農業	乳牛改良	畜産科	受精卵移植技術を用いた乳牛改良と、その受精卵販売による地域乳牛改良への貢献
	有馬	来園者に自然環境の魅力を伝えるための夢プログラムの企画・実施	人と自然科	学校設定科目地域自然保護では平成22年度より県土木事務所、県立人と自然の博物館と連携し、県立有馬富士公園をフィールドとした『来園者に自然環境の魅力を伝えるための夢プログラムの企画・実施』を展開している。
	但馬農業	被災地の仮設住宅へ草花を！	みのりと食科	農産物の販売活動等を通じて、地元の方々および生徒・職員に発送費用の支援協力をお願いし、3月にプリムラ・ポリアンサを仮設住宅へ届け心の絆を深めている。
		実習修学旅行	みのりと食科	北海道の雄大な自然を農業体験活動を通じて、地域にあった農業経営・技術について体験し、見分を広めている。
			総合畜産科	
	淡路	くにおみプロジェクト	総合学科	地元の食材を使ったお菓子の開発を行い、伝統的なジャムとセットにした商品が「ふるさと納税返礼品」に選ばれた。
		なるとオレンジ普及活動	総合学科	淡路島固有の品種「淡路島なるとオレンジ」を使った商品を開発し、品種を広くアピールするとともに、校内でも栽培している。
		スマート農業実証実験	総合学科	パソナグループと共同で、自動草刈りや栽培の機械化を実験し、スマートな農業を展開していく。
	農業	営農組合との連携	農業	JA共済連より寄贈を受けたドローンを活用し、地元営農組合の生産する水稲の収量・品質を向上させる取組
		園芸普及活動	園芸	地域老人保健施設にて高齢者向け園芸活動(園芸療法)の普及活動
		絶滅危惧植物の保護活動	生物工学	農業用水源地の植物を保護する目的でDNA鑑定技術で種の多様性を分析し保護活動の取組
	篠山東雲	日本酒プロジェクト	地域農業科	兵庫県の酒米新品種「hyougo sake85」等を栽培し、地元醸造メーカー「鳳鳴酒造」等と連携
		ウシガエルプロジェクト	地域農業科	農都ささやま外来生物対策協議会(丹波篠山市農都環境課事務局)と連携して、ウシガエル等、特定外来生物の駆除と肥料化や食材利用についての研究
佐用	保育園、幼稚園交流、小学校、特別支援学校との農業学習・体験交流支援	農業科学科	保育園、幼稚園交流、小学校、特別支援学校との農業学習・体験交流支援として、サツマイモ、イネ、ダイズの栽培をはじめ、自然学校の農業体験プログラムの指導を学科生徒が主体的に実践している。	
	伝統工芸品紙すき技術の継承と研究	農業科学科	皆田和紙保存会と連携して和紙材料の栽培・研究、行燈制作を通して、伝統工芸品「皆田和紙」の紙すき技術の継承を行っている。	
	花と元気を届ける東日本復興支援ボランティア(今年度は中止)	農業科学科	震災発生の翌年から被災地の仮設住宅を訪問し、生徒が栽培した花の植栽と元気を届ける交流・支援活動を行っている。現地での活動には家政、普通科の生徒も参加する。	
篠山産業	アグリビジネス	農と食科	学校設定科目で、起業家精神を養うために、栽培作物の選定から、販売までを生徒が行う取り組み	
上郡	地域特産品モロヘイヤの栽培	園芸科	地域の特産品であるモロヘイヤを、地元商工会と連携して生産・加工に取り組む。毎年、地域の幼稚園児や小学生を相手に、栽培や収穫の体験を開催したり、収穫の一部をふりかけに加工して小学校給食に供出するなどして地域の食育活動に協力している。	
氷上	学校設定教科「丹波学」	全学科	地域のNPOの方や外部講師を招聘し、地域理解から始まり、6次産業化や商品開発までを全学科で取組み、最終的には課題研究につなげていくことを目標として行っている。	
奈良	磯城野	「ココニワ」アプリの開発	環境デザイン科	スマホで奈良の庭園「依水園」を案内する観光アプリを開発した。現在は、吉野山「竹林院」を案内する観光アプリの開発に取り組んでいる。
		高品質な鶏肉・豚肉・鶏卵の開発	農業科学科	県内事業所と連携し、高品質な鶏肉・豚肉・鶏卵の生産に取り組んでいる。
		直売所「しきの彩(いろどり)の運営	農業科学科・施設園芸科・バイオ技術科・環境デザイン科	起業家精神の育成を目的として、模擬株式会社を設立し、火曜日の放課後を中心に定期的に学校生産物の販売をしている。
		大和野菜の普及活動	バイオ技術科	大和野菜を校内で栽培し、販売・出荷、さらに大和野菜を加工した商品開発や、イベントを実施している。「大和野菜列車」の運行や生産農家との連携活動へと発展している。
	五條高校 賀名生分校	全国募集	農業科	平成30年度より寮を完備し、全国募集を行う。地域で就農する生徒の育成を目的とし、地域農家や事業所での実習を多く取り入れる。
北海道現場実習		農業科	北海道余市町の農家(ブドウ・リンゴ・オウトウなど)に分宿し、寝食を共にしながら、10日間作業を行う。	
鳥取	倉吉農業	生物科、食品科 環境科	就農を目指す生徒で、認定プログラムを修了し、特に成績優秀な生徒を「スーパー農林水産業士」として鳥取県が認定するものである。食の6次産業化プロデューサー認定と長期インターンシップの修了が課せられている。	

都道府県	学校名	活動名	学科	概要
鳥取	倉吉農業	青パパイヤの特産品と耕作放棄地削減を目指した取り組み	生物科	パパイヤの未熟果である青パパイヤを山陰地方でも栽培可能であることを実証し、耕作放棄地で省力的に栽培でき、果実、葉を活用する可能性について取り組んでいる。
		良食味米生産プロジェクト	食品科	「第10回全国農業高校お米甲子園」において5年連続となる金賞を受賞した。また、第12回「あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト in 庄内町」における高校部門で5年連続となる優秀金賞を受賞した。
		スマート農業の実践	食品科	超省力化水稻栽培を学ぶため、スマート農業化に取り組んでいる。ドローンによる上空からのセンシングと農薬、追肥の実践、自動水管理システムの設置による水田の入排水の省力化などを実施している。また、業者による自動田植え機やロボットトラクターによる耕耘を本校水田で実演し生徒に見学させている。
		鳥取県版 HACCP 認証	食品科	県版HACCP認証「ウインナーソーセージ」と課題研究で商品化した「猪肉加工製品(猪肉ウインナーソーセージ)」が、鳥取県の公立学校では初となる「鳥取県版HACCP」に認証され、定期的に製造販売している。
		イノシシレトルトカレー商品化及びいのこつラーメンの開発	食品科	農作物を荒らすイノシシの駆除後の活用方法について研究し、イノシシ肉を使用したカレーのレシピを考案し、食品製造会社と共同開発したレトルトカレーの商品化に成功した。また、地元レストランとの連携により猪骨から出汁を取った「いのこつラーメン」の開発に着手し、メニュー化された。
		JR倉吉駅「おもてなし庭園」整備	環境科	JR倉吉駅周辺の美化について駅北花壇の年2回の植栽、おもてなし庭園の作成と管理、駅構内へのプランターの設置、年末にはパノラマ門松制作も恒例行事となっている。
	鳥取湖陵	イチゴ「とっておき」栽培プロジェクト	食品システム科	鳥取県が作出したイチゴの新品種「とっておき」の普及拡大に向け、栽培体系の確立を探索。
		JGAP認証トマト販売	食品システム科	鳥取県産農産品とのコラボレーションを進めている団体と連携し、地元スーパーでトマトを定期的に販売。
		智頭農林	地域基礎	全科1年生
島根	松江農林	高大連携	生物生産科	本年度2年生より、農業系四年制大学への進学を目指して入学した生徒と島根大学生物資源科学部の先生方にご指導をいただき、研究がスタートしている。
	益田翔陽	環境保全型水稻栽培益田モデルの確立	生物環境工学科	平成15年度から15年以上環境保全型水稻栽培の研究をおこなっている。合鴨水稻同時作を確立させ、それに加えミネラルを補給することによる無農薬、無化学肥料栽培の確立をめざしている。
高松農業	高農環境を考える会	農業クラブ専門部会	岡山市と連携し、平成15年度より絶滅危惧種「スイゲンゼミタナゴ」の保護・調査活動に取り組んでいる。平成26年度に開催されたESD国際会議岡山大会にも参加した。	
	郷土芸能部	農業クラブ専門部会	「あつ晴れ！おかやま地域文化奨励賞」を高校生としては県内初めて受賞。 倉敷天領太鼓の流れを組んで長年地域に伝承されている最上太鼓の公演活動に取り組んでいる。	
	有機JAS認定による水稻・野菜生産	農業科学科	アイガモ農法より効率的なアイガモ・どじょう農法を検証しながら、高品質米の生産に取り組んでおり、今年度もお米甲子園へ挑戦する。また、海外研修生と有機農法を通して交流を図っている。第12回食育推進全国大会 in おかやま出演。	
	乳牛研究会	畜産科学科	乳牛共進会に出場し、将来の酪農家としての資質を高める。第14回全日本ホルスタイン共進会後代検定娘牛の部で入賞して高校枠全国トップ、リードマンコンテスト3年生の部でベストリードマンを受賞した。	
	合同会社高農くすのきカンパニー	農場全体	合同会社高農くすのきカンパニーは、起業学習の一環として平成27年1月に設立した。農家や企業と連携し、6次産業化の実践的な学習をする。	
	岡山	水まんじゅうの商品開発	食品科学科	科の課題研究で製作したピオーネの水まんじゅうを、地元勝央町の和菓子の老舗と連携し、新商品として販売した。
わさび田復活とジェラート販売		グリーン環境科・食品科学科	台風被害と高齢化で行われなくなったわさび田の整備と栽培を始めて7年め。食品科学科との連携で、わさびクッキー、わさびアイスなどの商品開発を行った。わさびアイスは、地元企業がワサビジェラートを生産・販売している。	
森林系列の取り組み		グリーン環境科	地元美作松のPR活動として、県木材加工研究所の指導を受け、ひのきまくら、ベンチなどの木工品の製作。適切な森林管理の手法として航空レーザー計測やドローンによる立木計測システムを、社会人講師授業で学習。国内初の伐倒反復訓練装置、風倒木伐採訓練装置などの設備で安全な森林作業技術を学習。	
新見		千屋牛の伝統調教技術の伝承	生物生産科	千屋牛の伝統調教技術である和牛の基盤乗りを継承し、地域の催事等において披露している。
真庭		ミニパブリカの試験栽培と苗の供給	生物生産科	地元JA、市役所と連携しミニパブリカ(商品名 パプ丸)の試験栽培と地元農家への苗の供給に取り組んでいる。
井原	井原デニムによる地域活性化事業	園芸科	「D#プロジェクト～ハートフルデニムバッグ製作～」井原市内の小学1年生に入学記念として贈るデニムバッグを園芸科が綿の播種から収穫まで担当。綿からデニム生地までを地域企業協力のもと、家政科が縫製を担当している。	
	井原市花づくり友の会と連携したキク栽培	園芸科	井原市花づくり友の会の方々の指導のもと、挿し芽から開花・親株養成までの一連の流れを実際の栽培を通して学び、菊花展への出展だけでなく、校内菊花展なども行うことで地域の活性化を目標としている。	
広島	沼南	イグサプロジェクト	園芸デザイン科	広島県東部の伝統産業である「備後畳表」に関わる歴史と文化・技術を後世に継承するため、畳表の原材料となるイグサ「せとなみ」の栽培を行っている。外部講師の授業、ボランティア活動、商品開発等を行っている。

都道府県	学校名	活動名	学 科	概 要	
広島	沼南	こども園とのサツマイモを活用した交流学習	園芸デザイン科	「グリーンライフ」の授業でサツマイモの植付、収穫、加工の指導を通して年少者との交流を行い、作物の活用について理解を深めるとともに、年齢を異にする人たちに対する理解を深める。	
		特別支援学校とのぶどうを活用した交流学習	園芸デザイン科	「果樹」の授業でブドウの袋掛け、収穫を通して知的障害をもつ人たちの交流を行い、果樹の栽培について理解を深めるとともに、障害に対する理解を深める。	
		小学校とのひまわりを活用した交流学習	園芸デザイン科	「課題研究」の授業でヒマワリの播種、育苗、定植の指導を通して小学生との交流を行い、草花の活用について理解を深めるとともに、社会性を高める。	
		小学校教員への農業高校理解を深める研修	園芸デザイン科	草花や果樹の活用方法の研修指導や農場見学を通して、義務教育に携わっている小学校教員の農業高校や農業学習に対する理解を深める。	
	油木	ナマズプロジェクト	広島県立油木高等学校	耕作放棄地をナマズの池に変え、高齢者でも地域産業に貢献することを目指すプロジェクト。現在で11年目。広島東洋カーブからも支援を受けている。	
		ドローンプロジェクト	広島県立油木高等学校	2017年から始まった活動で、ドローンを利用し、農地計測や作物などのPVを作成し地域生産者へ提供している。慶應義塾大学とも連携をし、現在では内閣府の特区申請も行っている。	
		ミツバチプロジェクト	広島県立油木高等学校	今年で9年目のプロジェクト。日本ミツバチと西洋ミツバチの養蜂を行っており、町内にある日本ミツバチ研究所とも協力し、ミツバチサミットにも参加している。	
	庄原実業	GAP 認証取得の普及に向けた取組	生物生産学科	本学科の果樹(梨、ブドウ)において ASIAGAP 認証を取得している。地域で GAP 認証について普及する取組を行っている。	
		管内後継候補者研修会	生物生産学科	庄原市、県畜産課などと連携し、平成25年から継続して年間7回程度を目的に研修会を継続して行っている。地域和牛調教、管理技術の伝承を継続して行うことができた。	
		有機農業技術の確立	生物生産学科	ナシ、ブドウで「安心！広島ブランド」特別栽培農産物を取得した。また今後、食用米での取得も目標に今年度より食用うるち米の有機農法を開始した。	
		ICT技術を用いた栽培管理	生物生産学科	野菜や果樹栽培管理にフィールドサーバのデータやアグリノートなどのICTを用いた実習を実施している。また、施肥計画や農薬管理などの教材として導入している。	
	西条農業	エコフィード養豚	畜産科	地域で生産されるハトムギの茶殻やサイジョウマツナメコの軸部分を養豚飼料として利用している。	
	山口	田布施農工	フラワーアレンジメント	生物生産科	授業において2・3年次に計4単位で本格的な学習をしており、プロとして最低限必要な技術の習得を目指し学習を行っている。
			グルテンフリーの米粉パン開発	食品科学科	誰もが安心して食べることができるグルテンフリーの米粉パンを開発に取り組んでおり、最終的には、防災備蓄として役立てていただけるような商品を目指している。
清酒製造			食品科学科	昭和30年から熊毛杜氏の養成と蔵人の育成のために醸造科が誕生し、以来、農芸化学科や食品科学科と科名変更をしながらもお酒造りは伝統として受け継がれており、日本で唯一清酒製造の技術を学ぶことができる学校である。	
どぶろく製造			食品科学科(農業研究部酒造班)	田布施町はどぶろく特区の指定を受け、本校としてもどぶろくの製造に関する研究を始めた。製造する中で、全国のどぶろくに関する課題や問題点を調査し、改善に向けて研究をするとともに特区の方々を対象とした講演などを行い好評を得ている。	
庭園の設計・施工			都市緑地科	科目「造園技術」にて、割り当てのスペースに思い思いの庭園を作り、農工祭にて地域の方に品評してもらっている。	
西市		援農インターンシップ	生産流通科	地元の特産品である梨の栽培農家に行き、袋掛けや摘果を学びながら農家の方から農業についての苦労や面白みを話していただく。	
大津緑洋		ハマユウの保護活動	生物生産科・生活科学科	ハマユウの自生地は北限になっている。ハマヨトウの防除から活動が始まり、現在では草刈りなどの保護活動を行っている。	
		直売所の運営	生活科学科	1週間に1回、科目「グリーンライフ」で直売所を運営している。販売する農産物は、各部門で生産したものである。	
徳島	城西	JGAPの取得	生産技術科	JGAPを水稲で取得し、他作物での認証をめざした学習。	
		阿波藍の伝承	植物活用科	阿波藍の栽培から染色、商品開発、販売を一貫して行う6次産業化と染色の伝統技法を用いた各種交流活動。	
		HACCPの取得	食品科学科	食品衛生責任者養成講習を取得し、製造実習を行い、焼き菓子でのHACCP取得に向け取り組んでいる。	
		6次産業化の推進	アグリビジネス科	農業・工業・商業の学習を通して、規格外農産物の活用や、フェアトレード認証製品を活用した商品開発に取り組んでいる。	
		聞き書きプロジェクト	地域創生類	神山町内で働く大人の話の聞き、文字起こしを行う。	
	神山校	孫の手プロジェクト	全学科	町内のお年寄りの環境整備を有償で行う。	
		どんぶりプロジェクト	造園土木科	町内の在来種の種を育て地域の住宅に移植していく環境緑化作業。	
		神山森林ビジョン	環境コース	70年後の神山町の森林を守る取組。	
		まめのくぼプロジェクト	地域創生類	町内の耕作放棄地で作物や環境整備を行う。	
		アドプトアハイウェー	全学科	町内の国道周辺のゴミひらいを行う。	

都道府県	学校名	活動名	学科	概要
徳島	神山校	神領ユリ保護活動	食農・生活科	希少植物を植物バイオテクノロジーの授業で増殖していく。
		森林女子部	森林女子部	林業後継者や神山町の森林ビジョンを応援する取組。
	小松島西	松西藍プロジェクト	応用生産・園芸福祉科	阿波藍の食藍商品開発、栽培から染色(生葉染め)、食料科・生活文化科との連携・交流活動。
	勝浦校	「阿波ユコウ」の商品開発	応用生産科	香酸柑橘「阿波ユコウ」の商品開発・販売を一貫して行う6次産業化事業と商業科との連携・交流活動。
		野菜ふれあい教室	応用生産科	地域学校協働活動、地域の小学生と野菜づくり・収穫活動などを通しての食育交流活動。
	阿南光	伊島ササユリ保護活動	産業創造科	絶滅危惧種の伊島ササユリ保護活動
	池田三好校	夏秋イチゴの栽培と加工	食農科学科	夏秋イチゴの周年栽培研究及びイチゴワインの開発と醸造
		きのご類の菌床栽培	環境資源科	ホンシメジ・キクラゲ等の菌床栽培の確立と地域への普及活動
	吉野川高校	ふるさと納税返礼品	農業科学科	本年度より吉野川市・阿波市(2市同時)のふるさと納税返礼品に本校で栽培しているシャインマスカットが選ばれた。ふるさと納税返礼品に選ばれたことにより生徒自身が今までよりも積極的に授業に取り組むようになった。
	那賀	ドローン学習	森林クリエイト科	平成28年度より、町と連携し林業分野等におけるドローン運用方法について学習している。
地域の特産物・伝統技術伝承		森林クリエイト科	地域の特産物である「木頭スギ」の有効活用や、伝統技術である「拝宮和紙」製作技術伝承について学習している。	
香川	笠田	プロを講師とした授業	2年食品科学科	食品科学科は酒類試験製造免許を取得しており、清酒を醸造実習のときに、地元の川鶴酒造より講師を招聘し、実践的な技術や知識を学んでいる。
	農業経営	主基斎田お田植まつり	全学年	大正天皇即位の大嘗祭に新穀を奉納を与った主基斎田で、町無形文化財「主基斎田お田植まつり」に、本校女子生徒が早乙女・踊り子として参加している。
		地域農業学習	2年全学科	2年生の希望者を対象とし、生徒の居住地を担当する農業改良普及センターと連携し、地域の先進的な農家や企業で見学研修を行っている。
		先端農業実施研修	2・3年全学科	2・3年生を対象に学科や専攻に応じた企業や研究機関を訪問し、進んだ農業技術を学ぶ研修を行っている。
		外部講師により技術指導	3年全学科	各専攻学習の深化を図るため、外部講師(地元菓子店、企業専門職員など)を招聘し、実践的な技術を学んでいる。
		保育所との交流活動	3年全学科	地元の保育園児を農場に招き、イモのつるさしや収穫体験を実施している。
	ふれあい動物園	3年動物科学科	移動動物園として地域の文化祭に参加。高齢者福祉施設の入所者や地元の保育園児・特別支援学校の生徒を農場に招待するなどして、動物(ポニー・イヌ等)とのふれあい体験を実施している。	
飯山	ひまわり迷路	総合	休耕田にひまわりを栽培して、開花時期に迷路を造り近隣の幼稚園や保育所を招待している。本年度も園児達が迷路を楽しんだ。	
愛媛	土居高校	各種交流会	アグリカルチャーコース	地域の保育園、小学校、子育て支援グループや老人ホームと栽培、収穫などをとおして交流をしている(年間13回)。
	西条農業	中山間地域でのパイヤ栽培	食農科学科	中山間地域でパイヤの栽培を普及させることで、鳥獣害による被害の少ない農業の確立を目指す。
		石鎚黒茶の栽培と製造・普及	食農科学科、環境工学科、生活デザイン科	全国でも珍しい2段階発酵によりつくられる、石鎚黒茶の栽培・製造技術の継承と普及活動を行う。
		棚田保全活動	食農科学科	市内千町地区にある耕作放棄が目立つ棚田での稲作などの保全活動の実施。
		特産品を使った商品開発	食農科学科	西条市の特産物であるはだか麦やホウレンソウなどを使って、企業と共同でホウレンソウうどんやハンバーガーなどの新商品の開発を行う。
		高校生レストラン	生活デザイン科	市内商店街の店舗を活用して、特産品などを使った料理の提供を定期的に行う。
		スマート農業の実践	食農科学科、生活デザイン科	フィールドサーバードローン、アプリを使った生育管理。生育管理や POS アプリなどの作成。GPS 田植機や農業散布用ドローンの導入と研修。
	丹原	ブドウでの GLOBAL G.A.P. 認証取得と海外輸出	園芸科学科	昨年、一昨年でブドウで GLOBAL G.A.P. 認証取得をしている。シャインマスカットとピオーネを台湾に輸出し、生徒も渡航し台中市の裕毛屋で販売プロモーションを実施した。今年は、生徒参加の台湾研修は実施できないが、ブドウは輸出できた。
	上浮穴高校	クロモジ	森林環境科	介護老人福祉施設と「香り」が認知症を軽減することができるか。
クロモジ		森林環境科	森のハーバルライフへの参加。	
林業インターンシップ		森林環境科	1・2年生、久万町内の森林見学、高性能林業機械操作体験。	

都道府県	学校名	活動名	学科	概要
愛媛	上浮穴	林業インターンシップ(2年生)	森林環境科	林業従事者と林業の仕事の魅力について意見交換。
		園芸班	森林環境科	園芸班による地域イベントでの野菜、花の販売実習。
		園芸班・クロモジ	森林環境科	特産品(トマト)を利用した加工品開発、クロモジウォーター・オイルの利用研究。
		園芸班	森林環境科	園児・小学生に普及活動。(田植え、稲刈り、トマト、サツマイモの定植、収穫等)
		カホン制作・演奏、豆腐製造	森林環境科	保護者、地域に希望者を募り実施。(交流学习)
		園芸班	森林環境科	幼稚園、小学校、役場など地域に花苗の販売。
		フラワーデザイン・木材加工	森林環境科	フラワーデザイン・木材加工を実施。
		地域(久万高原町)との連携	森林環境科	林業や園芸、作物、クロモジ等で連携。
		郷土芸能部	森林環境科	久万五神太鼓の演奏活動。
	大洲農業	大農蕎麦's	食品デザイン科	地元の食材である蕎麦を利用した地域の伝統食品の保存・普及活動
野村	北海道ファームステイ	畜産科	2年生が9月下旬に8泊9日で北海道黒松内・札幌から千歳の農家にインターンシップ(主に酪農家)で実施。	
高知	高知農業	GAP認証取得に向けて	農業総合科	GAP認証取得に向けたGAP教育を活用することで、生徒の自主的な活動を促す。
		HACCP認証に向けて	畜産総合科	HACCP認証に向けたHACCP教育を活用している。
	幡多農業	GAP認証取得に向けて	園芸システム科	GAP認証取得に向けたGAP教育を活用することで、生徒の自主的な活動を促す。
		体験学習受け入れ事業	アグリサイエンス科	近隣小学校を中心に、家畜の世話や搾乳体験を通じた命の授業に取り組んでいる。
	はたのう市場	全学科	学期に1回、本校の生産物を地域の方々に販売し、コミュニケーション能力や生きる力を育む取り組みを行っている。	
福岡	久留米筑水	県指定天然記念物(榎並木)保存活動	環境緑地科	地域ボランティア活動の一環として保存会会員の方と協力して3年生が取り組んでいる。活動をはじめて昨年度で25年になる。
		地域社会貢献活動(庭園剪定ボランティア)	環境緑地科	自宅庭園の剪定ボランティア活動。
		秋の交通安全週間における花苗配布活動	生物工学科	地元交通安全協会の要請を受けて本校で栽培した花苗の配布。
		地域農産物を活かした商品開発	食品流通科	地元生産農家(ネギ部会)と連携を図り、地域農産物(明星ネギ)を加工(ネギ味噌)した商品開発。
	糸島農業	根こぶ病対策支援事業	農業技術科	福岡地域改良普及センター・JA・農家と連携して地域のアブラナ科野菜産地を根こぶ病から守る取組。
		糸農講座	全学科	福岡県・糸島市と連携して糸島農業振興プロジェクトとして生徒たちが日頃の授業成果を講師として希望した地域の方々に伝える活動。
		放置竹林問題対策活動	農業技術科・農業クラブ	糸島市青年会議所・糸島市等と連携し、地域の放置竹林の問題について学習会や様々な活動とおして地域の竹林の適正管理と環境の改善を図ることを目的とした取組。
		多元センシングに基づく栽培知識マップのさくせい	生活科学科	九州大学と連携して農作物栽培技術習得のためのICTを活用した学習支援システムの研究
	福岡農業	太宰府の梅を活用した循環型農業の確立	食品科学科	太宰府市の全面協力の下、日本遺産である「太宰府の梅」を使用し、企業と連携し商品開発を行うことで地域資源の活用を実現している。企業から売上げの一部を太宰府市に寄付してもらうことで循環型農業を実施している。
	朝倉光陽	商品開発	食農科学科	地域の特産物を活用し地元企業と連携し商品の開発
佐賀	唐津南	虹の松原保全活動	生産技術科・食品流通科	唐津南高校虹の松原プロジェクトは、平成16年度より国の特別名勝である虹の松原の保全活動を行っている。活動は松葉かきや清掃活動、有効資源の研究、日本未来遺産への登録活動、各種大会・研究会での広報活動を行う中で守るべき遺産虹の松原を後世につなげる活動をしている。
長崎	島原農業	スマート農業実証プロジェクト	農業ビジネス科	南島原市・株式会社セラク・生産者と実証グループを作り、スマート農業技術の活用による南島原市産アスパラガスの生産体系を校内圃場に導入し、人材育成の実証を通じて担い手輩出の役割を担っている。
		島原市IoT推進ラボ	農業ビジネス科	島原市と市内企業との連携により、市内ビジネスの創出・IoTによる高効率化を目指す中で、IoTデバイスを使用して農業高校内のフィールドデータを見える化する。また、見える化して蓄積したデータ及び栽培作物の出来高を比較・考察した結果を翌年の栽培にフィードバックし、IoTの定着をはかる。

都道府県	学校名	活動名	学科	概要
長崎	諫早農業	諫農出前授業	全学科	各学科実施可能な小中学生向けの出前講座・受け入れ講座をHPで公開し一般に募集している。
	西彼農業	動物を活用した活動	食料サイエンス科	動物を活用し、移動動物園や学校において小学生向けの動物・栽培講座を開いている。
		希少植物の保護活動	生活デザイン科	地元の市花であるカノコユリ・ハマボウの保護活動を行い、毎年苗の配布をしている。
	北松農業	ドローン教育	全学科	田平まちづくり協議会から講師をお招きし、水曜日の放課後にドローン教室を開催している。
熊本	北稜	クリスマスイルミネーション	造園科	町の商工会議所青年部と協力して公園のクリスマスイルミネーションの装飾を行った。
		県指定天然記念物「山田の藤」のせん定	造園科	県指定天然記念物「山田の藤」のせん定を地域の人と協力して行っている。
		県庁プロムナード庭園管理	造園科	県庁のプロムナード庭園の改修及び管理を行っている。
	北稜	近隣小学校、幼稚園等への出前授業	園芸科学科	近隣の小学校や幼稚園に生徒職員が出向き児童や園児とともに野菜や草花の植え付け等を行っている。
	八代農業	一人一畑一経営	園芸科学科	各生徒が自由に作目や経営規模を決めて、利益を出すことを目的に播種から栽培、収穫、販売を行う。
		地域連携プロジェクト	食品科学科	地域農産物を活用し、近隣のアグリビジネスセンターやJA等と連携して、加工品の開発を行う。
	南稜	おかどめ幸福駅の活性化	総合農業科	フウセンカズラのオブジェ、黄色い郵便ポストの設置、駅カフェで地域活性化に取り組んでいる。
		牛部の取組み	総合農業科	共進会全国大会出場を目指し、部活動として毎日管理に取り組んでいる。
		ダイズで地域特産品開発	食品科学科	地域産ダイズでクッキー、ケーキの商品開発をし、駅カフェや物産館で販売している。
大分	大分東	米ゲルを使った新商品の開発	園芸ビジネス科	米ゲルを使用し新商品となる加工品の製造。
		汚泥肥料の活用研究	園芸ビジネス科	食と下水道の連携～BISTRO下水道～大分市が民間企業ベオリアニに委託し、汚泥肥料の共同研究を行っている。
		地域交流を通じた花育活動	園芸デザイン科	地域交流を通じた花育活動で、多くの友人や子供たちに花の素晴らしさや楽しさを伝える活動の実施。
	三重総合	大分の農林水産業を牽引する担い手育成事業	生物環境科	①産業としての魅力を伝える連携 ②専門スキルを体験させるための連携 ③先進事業者でのインターンシップ ④GAP、HACCP研修など、2学期から取り組む予定。予算は、県より。
	国東	七島蘭の工芸品製作	園芸ビジネス科	国東半島は農業遺産に認定されている地域であることから七島蘭の栽培・工芸品製作に取り組んでいる。
	玖珠美山	地域連携	地域産業科	4つの類型が、地域に関する課題を取り上げ、課題研究のテーマとして実施。その成果を課題研究発表会として一般の方にも公開している。
		パークマットの企業化	地域産業科	この地域で処理に困っているスギ樹皮の有効利用としてパークマットを開発、特許取得をして企業化している。
		天然記念物保護活動	地域産業科	県指定天然記念物に指定されているレンゲツツジ群落の調査。保全活動を玖珠町役場と連携して実施している。
		玖珠町オオムギプロジェクト	地域産業科	COC+で、本j校、玖珠町、別府大学と連携し、玖珠町のオオムギを使った新商品の開発を実施している。
	佐伯豊南	未利用海藻の堆肥化	食農ビジネス科	県の水産研究部と連携し地域の課題で赤潮の原因となるアオサを堆肥化するプロジェクトを実施
久住高原農業	ASIAGAP、有機JAS認証の取得	農業科	24品目の野菜で ASIAGAP Ver2.1 青果物及び有機JAS 認証を取得している。	
宮崎	門川	門川町特産品創出事業	総合学科	地元の特産品を創出するために珍しい柑橘の栽培法を門川町と連携して確立する事業
			栽培ビジネス系列	
	高鍋農業	SPH 事業	全学科	新たな時代の変化に対応できる次世代農業経営者及び関連産業技術者の育成に関する継続研究 MSEC をとおした教育プログラムの情報共有
	宮崎農業	県庁楠並木朝市(宮農ふれあいマーケット)	生産流通科	平成19年度より始まった朝市に出店し、宮農の農産物を地域の販売するとともに出店されているお店に生徒の体験実習をお願いして販売体験を行っている。また、29年度より高校生によるプロデュース朝市も実施している。地域の方々から高い評価を頂いている。
小林秀峰	和牛 BL 対策	農業科	宮崎県小林市を含む西諸県地域は、和牛の産地であり、子牛を市場に上場する雌牛はBL 検査の推進が行われている。そのため本校として宮崎大学、畜産試験場と連携を図り、正常な農場整備に取り組んでいる。	

都道府県	学校名	活動名	学科	概要
宮崎	小林秀峰	和牛 BL 対策	農業科	宮崎県小林市を含む西諸県地域は、和牛の産地であり、子牛を市場に上場する雌牛は BL 検査の推進が行われている。そのため本校として宮崎大学、畜産試験場と連携を図り、正常な農場整備に取り組んでいる。
		農福連携	農業科	特別養護老人ホームとの農福連携。福祉施設の圃場を使用した野菜栽培を通して、高校生との交流を実施している。
		全国和牛ハイスクールサミット	農業科	小林市との連携事業として、将来の和牛経営を目指す全国の高校生が一堂に会し、全国和牛ハイスクールサミットを開催した。
鹿児島	山川	マメ博士育成プロジェクト	園芸工学・農業経済科	本校のある指宿市は、ソラマメやスナップエンドウの生産量が全国1位であることから、学校でも栽培しながら豆類についてが学種するとともに、マメを使った商品開発やアンケート、試食会やPR活動、農家や外部講師の招聘などを行っている。
		大豆 100 粒運動 for high school、ジュニア豆腐マイスター講座実施	園芸工学・農業経済科	大豆栽培をとおして大豆を学び、さらに豆腐マイスター協会が主催する講座を受講し、ジュニア豆腐マイスターを取得している。そこで学んだ豆腐作りを体験入学や一般を対象にした豆腐作り教室で生徒が先生役になり指導を行うことでさらに理解を深める。
		IPM 栽培技術による露地オクラ栽培	園芸工学・農業経済科	本校のある指宿市は、オクラの生産量が全国1位である。より安全・安心なオクラ作りを目指して、地域の関係機関や農家と連携して、IPMオクラ栽培を行うとともに、生徒がIPM栽培の考え方や技術を理解・習得する。
	加世田常潤	有機JAS認証	有機生産科	有機JAS認証を受けた畑でサツマイモ栽培。保育園児・幼稚園児と植付け・収穫体験を行い、交流(ふれあい農園)を行っている。
	市来農芸	「指定種豚場」認定	生物工学科	今年度で8年連続「かごしま黒豚指定種豚場農場」に認定されている。
		大豆 100 粒運動 for high school、ジュニア豆腐マイスター講座実施	農業経営科	大豆栽培をとおして大豆を学び、さらに豆腐マイスター協会が主催する講座を受講し、ジュニア豆腐マイスターを取得している。そこで学んだ豆腐作りを体験入学や一般を対象にした豆腐作り教室で生徒が先生役になり指導を行うことでさらに理解を深める。
	薩摩中央	地域連携	生物生産科・農業工学科	宮之城ロータリークラブと共同でサツマイモを育てる取組は、地域で働く様々な職種の方々と交流を通じて生徒が社会性を身に付ける良い機会となっている。
	鶴翔	地域連携	農業科学科、食品技術科	学校が所在している市と包括連携協定を結び、市の施設やバスなどが利用できる。市主催のイベントに生徒がボランティアとして参加し地域を盛り上げている。
	伊佐農林	資格取得	農林技術科	在籍生徒全員が小型車両系建設機械特別教育、チェーンソー安全衛生特別教育及び刈払機安全衛生教育講習を受講し、希望者は車両系建設機械運転技能講習並びに小型移動式クレーン運転技能講習を受講している。
	国分中央	ASIA-GAP 認証、県版 GAP 認証	園芸工学科	農場を一つの経営体として考え、食品安全、労働安全、環境保全に取り組み、平成 29 年に県版 GAP 認証取得、H30 年 ASIAGAP 認証を取得している。
		霧島市ガストロノミー協議会認定制度「ゲンセン霧島」認定	園芸工学科	持続可能な農業を学び、未来を切り開く人材育成の取組が霧島市、ガストロノミー協議会認定制度「ゲンセン霧島」に認定されている。
		100 年前のサツマイモバイオ苗「蔓無源氏」供給	園芸工学科	酒造会社の依頼を受け、科目「バイオテクノロジー」において 100 年前の蔓無源氏を増殖し、農家へ供給して 11 年目である。
		国分大根の復活	園芸工学科	鹿児島県の伝統野菜である国分大根の研究を、地元の青年クラブと連携し活動している。桜島大根の機能性物質が発見されたということで、現在、原種である国分大根は注目されている。
沖縄	北部農林	地域特産物、商品開発	食品科学科	大宜味村の「カラキ」を利用したサブレを研究し、お菓子業者と連携し定期販売することに成功した。その結果、大宜味村のカラキ生産農家の販路拡大・6 次産業化までの道筋を構築した。
	宮古総合実業	高校生レストラン	生物生産科	企業連携、国際交流、商品開発、食育、外部講師、保育園・幼稚園との交流
		地下水保全	食と環境科	企業連携、国際交流、家畜排泄物対応、有機農産物・減農薬・無農薬栽培、環境保全活動、商品開発、食育、花いっぱい運動、外部講師、デュアルシステム
	生活福祉科		企業連携、国際交流、商品開発、食育、外部講師、棚田	
八重山農林	環境保全活動、農村文化・芸能の継承	全学科	全生徒が自生しているチガヤを刈り取る学校行事。学年によってノルマを設定し、優勝者には「金の鎌」が授与される創立以来の伝統行事。刈り取られたチガヤは、圃場の敷材として利用したり畑にスキ込み土壌改良剤とする。	